

バーコードメモリースキャナ

CM-200M

## 取扱説明書

Ver.0

はじめにお読み下さい



株式会社エイポック

[www.a-poc.co.jp](http://www.a-poc.co.jp)

- ・製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
- ・本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

## 目次

改訂履歴	3
おことわり／取り扱い上の注意	4
第1章 はじめに	7
第2章 セットアップ	10
第3章 USB ケーブル式スキャナの使い方	13
第4章 メモリースキャナの使い方	14
第5章 メンテナンス	16
第6章 困ったときは	17
第7章 仕様	18
第8章 出荷時の初期設定一覧、コード ID 一覧	19
第9章 設定の方法	28
第10章 設定メニュー	35
・ 10-1 初期化、設定中止、バージョン情報	35
・ 10-2 動作設定 キーボード設定	36
・ 10-3 動作設定 スキャナ本体の日時、日時の転送、日時の形式、ヘッダ/フッタ	37
・ 10-4 動作設定 スキャニング	38
・ 10-5 動作設定 ブザー、パイプレータ	39
・ 10-6 動作設定 読み取りデータの形式	40
・ 10-7 動作設定 最小読取桁数/最大読取桁数	41
・ 10-8 読取設定 UPC-A	42
・ 10-9 読取設定 UPC-E	43
・ 10-10 読取設定 EAN-13 / JAN-13	44
・ 10-11 読取設定 EAN-8 / JAN-8	45
・ 10-12 読取設定 Code 39	46
・ 10-13 読取設定 Interleaved 2 of 5	47
・ 10-14 読取設定 Industrial 2of 5	48
・ 10-15 読取設定 Matrix 2 of 5	49
・ 10-16 読取設定 Codabar / NW7	50
・ 10-17 読取設定 Code 128	51
・ 10-18 読取設定 Code 93	52
・ 10-19 読取設定 Code 11	53
・ 10-20 読取設定 MSI	54
・ 10-21 読取設定 Plessey	55
・ 10-22 読取設定 Telepen	56
・ 10-23 読取設定 GS1 Databar Omnidirectional	57
・ 10-24 読取設定 GS1 Databar Limited	58
・ 10-25 読取設定 GS1 Databar Stacked	59
・ 10-26 読取設定 GS1 Databar Expanded	60
・ 10-27 読取設定 GS1 Databar Expanded Stacked	61
第11章 保証と修理	62
付録 A サンプルバーコード	63
付録 B 英数メニュー	64

## 改訂履歴

Ver.A~L	・初版発行、訂正、追記	-
Ver.M	・説明書改訂	201604
Ver.N	修正：8-1 UPC-A 前方の削除 初期値 0 を 1 に修正 ※ファームウェア 00002-XXXX 以上 修正：8-1 Code128 区切文字 初期値 (を())に修正 修正：8-1 アプリケーション ID をアプリケーション識別子に修正 加筆：各所 Interleaved 2 of 5 に ITF を併記 加筆：8-1 GS1 Databar 各種に日本規格名を併記	201604
Ver.O	修正：10-1 初期化の説明を修正	201606

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

## おことわり

- 本製品を正しく使用するために、必ず本書をお読みになり内容をご理解いただいた上でご使用ください。本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品はすべての USB を用いた機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべての USB を用いた機器との動作保証をするものではありません。ご使用にあたっては、USB を用いた機器の動作条件と接続の可否情報を各メーカーまたは取り扱い元にご確認ください。
- 読み取りはバーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。

## 取り扱い上の注意

ここには、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。

### 警告表示の意味

	<b>危険</b>	絶対に行ってはいけない事項。この表示の注意を守らないと、使用者が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じる恐れがあります。
	<b>警告</b>	厳重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。
	<b>注意</b>	安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。

### 絵記号の意味

	<b>警告</b>	この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されていません。
	<b>注意</b>	この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。



**危険**

-  本製品を火の中、電子レンジ、オープンや高圧容器に入れないで下さい。また、本製品を加熱したりしないで下さい。  
破裂、発火や火傷の原因となります。
-  本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。  
目に障害を与える恐れがあります。
-  本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルまたは本製品専用の充電アダプタを使用してください。
-  プラグ、ジャックの端子をショートさせないで下さい。  
発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやヘヤピンなどの金属製品と一緒に携帯・保管しないで下さい。
-  直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くで使用または放置をしないで下さい。  
破裂、発火や火傷の原因となります。
-  本製品の分解・改造・修理を自分でしないで下さい。  
発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、許可なく本製品のシールやカバーをはずした場合、修理をお断りする場合があります。

**警告**

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。与えてしまったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用下さい。

付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因にもなります。



読み取り窓から出る赤い光を直接目でのぞき込まないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



読み取り窓から出る赤い光を人の目に向けしないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。

火災になったり、感電する恐れがあります。



濡れた手で本製品に触れないで下さい。

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因になります。また、コンセントに接続されていなくとも故障の原因になります。



小さなお子様が電気製品を使用する場合は、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導の下で行うようにして下さい。



プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。

そのまま使い続けると、火災、感電の原因となります。

**注意**

パソコンおよび周辺機器の取扱いは、各説明書をよく読んで、各メーカーが決める手順に従ってください。



静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにして下さい。

人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損される恐れがあります。



本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスクなど）のデータをすべて CD-ROM など外部の記憶装置にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。



次の場所には設置しないで下さい。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・ 強い磁界が発生するところ、静電気が発生するところ
- ・ 温度、湿度が製品の説明書が定めた使用環境を超えるところ、または結露するところ→故障の原因となります
- ・ 振動が発生するところ→けが、故障、破損の原因となります
- ・ 平らでないところ→転倒したり、落下したりしてけがや故障の原因となります
- ・ 直射日光が当たるところ、火気の周辺、または熱気のあるところ→故障や変形の原因となります
- ・ 漏電または漏水のあるところ→故障や感電の原因となります



シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないで下さい。製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。

条例については、各地地方自治体にお問合せ下さい。

## 法規制遵守

この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。

- (1)本製品によって、有害な干渉が発生することはない。
- (2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

本製品は米国連邦通信委員会(FCC)規制のパート 15 に従い、クラス B デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、家庭環境・住宅環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- ・ 受信アンテナの位置や方向を変える
- ・ 装置と受信機の距離をとる
- ・ 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- ・ 経験のあるテレビ・ラジオの技術者に相談する

この装置は VCCI クラス B に適合しています。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に従い、クラス B 情報技術装置の規制に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、家庭環境・住宅環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- ・ 受信アンテナの位置や方向を変える
- ・ 装置と受信機の距離をとる
- ・ 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- ・ 経験のあるテレビ・ラジオの技術者に相談する

## レーザーの注意

本製品は IEC-825, CDRH class 2 レーザー製品に準拠した製品です。製品の目的どおりに使用した場合は危険がないとみなされています。ご使用になるとき、次の点に注意して下さい。



読み取り窓から出る赤い光・レーザービームを直接目でのぞき込まないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



読み取り窓から出る赤い光・レーザービームを人の目に向けしないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。

## バッテリーの注意

- 本製品は、リチウムイオンポリマーバッテリーを使用しております。体積エネルギー密度 400Wh/L 以下です。従って、電機用品安全法が定める PSE マークは必要ありません。

- はじめに、バッテリーを満充電して下さい。
  - ・ 満充電になるまで約 1.5 時間です。
  - ・ 満充電になると、充電通知 LED が赤の点灯から点滅になります。
- バッテリーは定期的に充電して下さい。寿命がくるのを防ぎます。
  - ・ 3ヶ月以上、使用・充電せずに放置すると、バッテリーの特性により劣化、液漏れなど不良が生じます。

- 満充電からの動作回数目安は次の通りです。
  - ・ 23,000 回の読み取り (5 秒に 1 回の読み取り、バイプレータ・オフ、ブザー・オン)

- 販売元のサポートなしで、バッテリーの交換を行わないで下さい。  
お客様ご自身でバッテリー交換のため分解等を行うと、破損・故障の原因になります。

- 充電中、赤いランプが高速で点滅したら、バッテリーの寿命です。
  - ・ すみやかに充電を中止して下さい。
  - ・ 弊社または販売店にバッテリー交換修理をご依頼下さい。バッテリーの交換は有償となります。

- バッテリーが液漏れしていたら、直接手で触れたり、目に入らないようにして下さい。  
万一、バッテリー液に直接触れた場合はすみやかにきれいな水で洗い流し、医師に相談して下さい。

## 第1章 はじめに

### 1-1 本書について

本書では、バーコードメモリースキャナ CM-200M の操作方法について一般的な情報を説明します。

### 1-2 製品の特徴

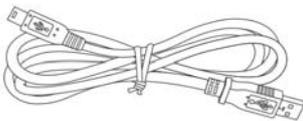
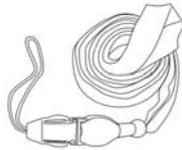
CM-200M（以下、本製品またはスキャナ）はバーコードの読み取りおよび入力装置です。

- 小型サイズ、高性能な読み取り性能
- 2つのモードに対応
  - (1) USB ケーブル式スキャナ…有線バーコードリーダーとしてパソコンにデータ入力します。
  - (2) メモリースキャナ…バーコードを読み取り、スキャナ本体にデータを蓄積します。
- RTC（リアルタイムクロック）搭載 メモリースキャナの読み取り日時も記録可能
- バイブレータ搭載（オンオフ可能）
- JAN13（13桁）を4,600件蓄積可能
- バッテリー搭載、長時間動作

**略称について** 以下、本書ではモードを略称で表記している場合があります。

モード	略称
USB ケーブル式スキャナ	ケーブル、ケーブルスキャナ
メモリースキャナ	メモリ

### 1-3 付属品

<input type="checkbox"/> CM-200M(スキャナ本体)	<input type="checkbox"/> USB ケーブル	<input type="checkbox"/> ストラップ	<input type="checkbox"/> かんたんガイド(簡易説明書)
			

**ご案内** 本書の印刷物は付属していません。ホームページからのダウンロードでの提供となります。

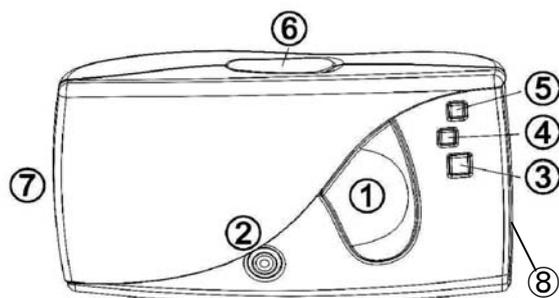
### 1-4 別途ご用意下さい

- 利用可能な USB ポートがあるパソコン

**ご注意** 本製品はすべての機器との動作を保証するものではありません。

## 1-5 各部の名称

スキャナ本体 CM-200M



①	スキャンキー	レーザーを照射し、バーコードを読み取る。
②	消去キー/転送キー	蓄積データの消去、又は、転送を行う。
③	読取LED	緑：読み取り成功（ケーブル式スキャナ）、読み取り待機（メモリースキャナ） オレンジ：読み取り成功（メモリースキャナ） 赤：エラー
④	パワーLED（赤）	2秒間隔の点滅：充電完了。 点灯：充電中。 高速な連続点滅：バッテリー寿命、または異常。すみやかに充電を中止して下さい。
⑤	未使用	未使用
⑥	USBポート	USBケーブルを接続する。充電、データ転送する。
⑦	ストラップ穴	ストラップを取り付ける。
⑧	読取窓	レーザーを照射する。

## 1-6 ブザーとLEDの意味

## ケーブル式スキャナ

機能、操作	ブザー	LED	
ケーブル式スキャナになったとき (PCとケーブル接続したとき)	上昇下降メロディー、1回の長音	赤・点灯	パワーLED
ケーブル式スキャナで使用中	-	-	-
バーコード読み取り	1回の短音	緑・点灯	読取LED
蓄積データ転送する ・ <b>転送キー</b> 長押し	5回の短音と1回の長音(ピロピロピ、ピー)	-	-
充電中	-	赤・点灯	パワーLED
充電完了	-	赤・点滅	パワーLED

## メモリースキャナ

機能、操作	ブザー	LED	
メモリースキャナになったとき (PCからケーブルを外したとき)	1回の短音	-	-
メモリモードで使用中	-	-	-
バーコード読み取り ( <b>スキャンキー</b> を押して読み取り)			
・ 待機中	-	緑・点滅	読取LED
・ 読み取り成功	1回の短音+短い上昇音(ピピロロロ)	オレンジ・点灯	読取LED
・ エラー(2度読みなど)	5回の短音(ピピピピピ)	赤・点灯	読取LED
蓄積データ1件消去 ( <b>消去キー</b> を押しながら読み取り)			
・ 待機中	-	オレンジ・点滅	読取LED
・ 読み取り成功	1回の長音と2回の短音(ピーピピ)	緑・点滅	読取LED
・ エラー(消去する対象のデータが無い)	5回の短音(ピピピピピ)	赤・点灯	読取LED
蓄積データすべて消去 ( <b>消去キー</b> を長押し)	1回の長音(ピー)	オレンジ・点滅から点灯→赤・点灯	読取LED
バッテリー残量が少ない	-	赤・高速点滅	パワーLED

## 設定時のブザー(ケーブル式スキャナ/メモリースキャナ共通)

機能、操作	ブザー
設定開始読み取り	上昇メロディー
設定中	-
設定メニュー読み取り(成功)	高低(ピロ)
設定メニュー読み取り(エラー)	5回の低い短音(ピピピピピ)
設定メニュー読み取り (次に英数メニューが必要)	高低高低(ピロピロ)
英数メニュー読み取り	2回の短音(ピピ)
セット読み取り	短い上昇メロディー
設定終了読み取り	下降メロディー

## 第2章 セットアップ

### 2-1 製品の取り出し

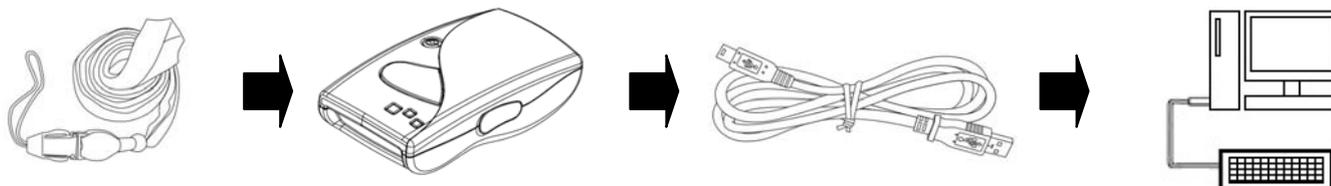
箱から製品を取り出したら、次のことを確認して下さい。

- ・ 製品に破損が無いことを確認する。破損があった場合はすぐに弊社へお知らせ下さい。
- ・ 不足しているものがないか確認する。
- ・ 保管や返送時のために、箱は保管する。

### 2-2 スキャナのセットアップ

スキャナにストラップを取り付けてください。落下防止のため、ストラップをご使用下さい。

USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続して下さい。パソコンが自動でドライバをインストールしセットアップが完了します。



### 2-3 充電して下さい

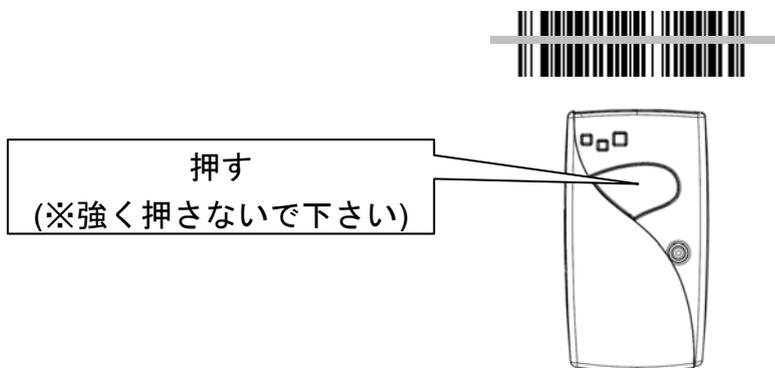
スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続し、充電して下さい。満充電になるまで約 1.5 時間です。

- 充電中は、パワーLED（赤）が点灯します。
- 満充電になると、パワーLED（赤）が点滅になります。

**ご注意** 充電したとき、パワーLED（赤）が高速で連続点滅した場合、バッテリー寿命、または異常が発生しています。すみやかに充電を中止し、弊社または販売店にご相談下さい。

### 2-4 バーコードの読み取り方

- 1) **スキャンキー**を押して下さい。
- 2) レーザーをバーコードに照射して下さい。スキャナがバーコードを読み取ります。



**メモ** レーザーが完全にバーコードを横切るように照射して下さい。



## 2-5 最初に設定して下さい (おすすめの設定集)

はじめて使うときの、おすすめの設定集です。スキャナで設定メニューバーコードを読むと、スキャナが設定されます。

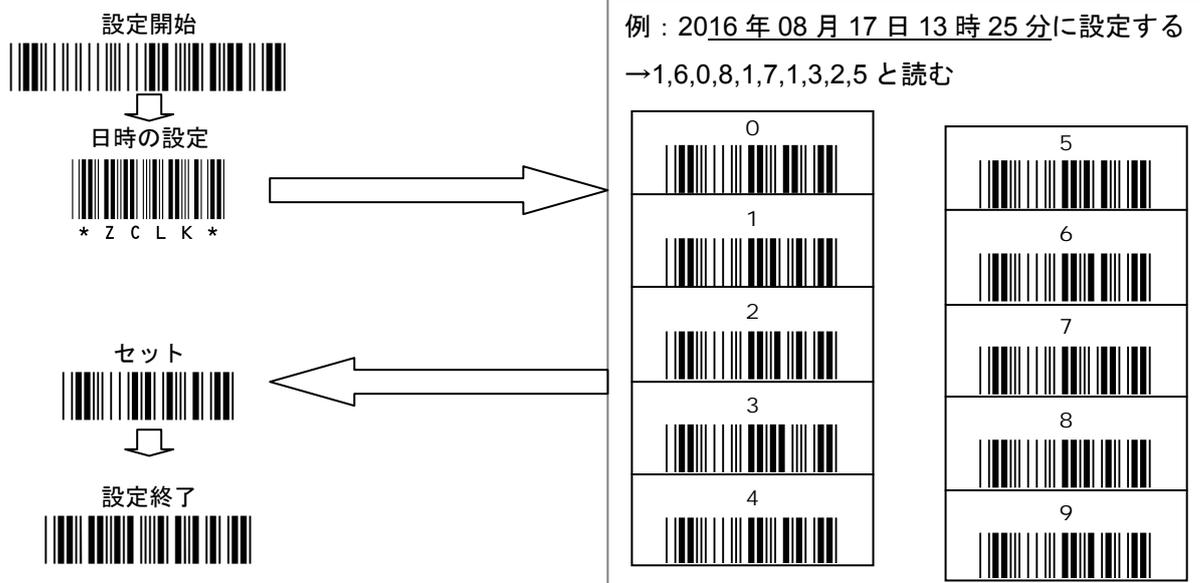
### 2-5-1 キーボード配列の設定 <設定して下さい>

スキャナで設定メニューを順に読み取って下さい。この設定は：+など記号を正しく転送するための設定です。



### 2-5-2 スキャナ本体の日時設定 (日時合わせ) <日時が必要なら設定して下さい>

スキャナ本体のタイマーを設定します。スキャナで設定メニューを順に読み取って下さい。

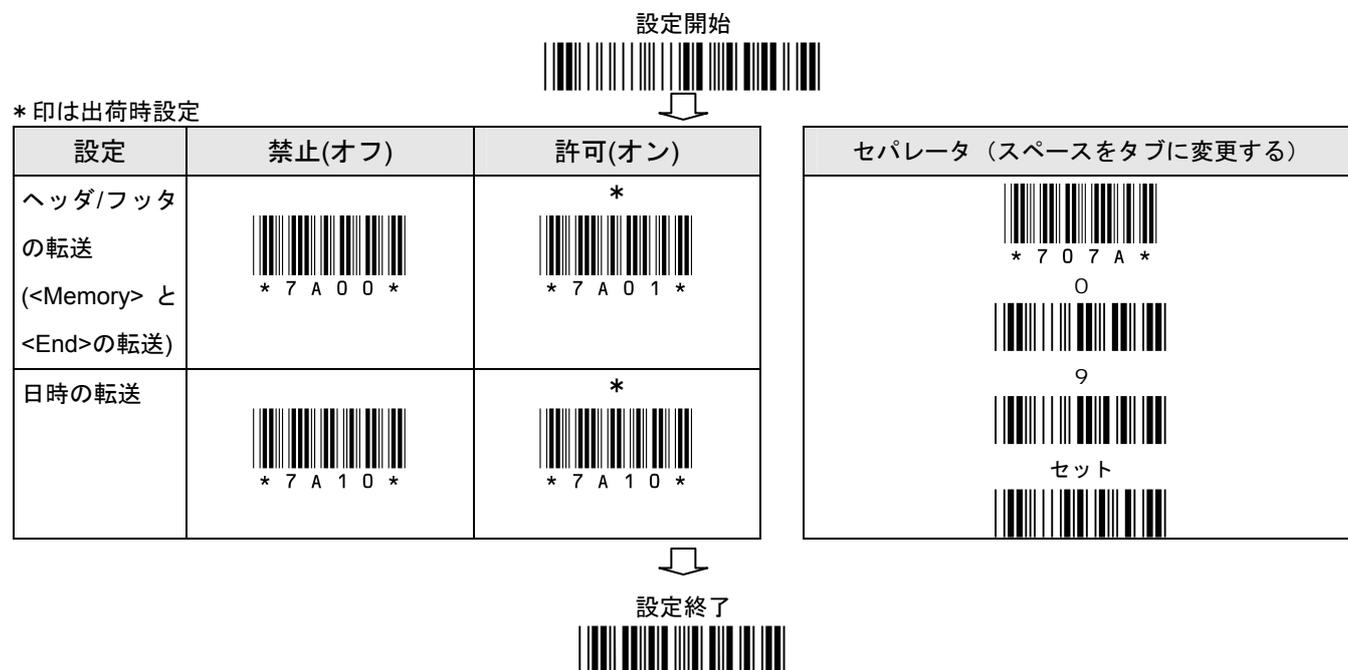


### 2-5-3 蓄積データの転送形式 <お好みで設定して下さい> (詳細は第4章4-8を参照)

メモリースキャナで蓄積したデータをパソコンに転送すると「<Memory>、日時とバーコードデータ (の繰り返し)、<End>」の形式で転送します。設定例を参照し、スキャナで設定メニューを読み取って下さい。

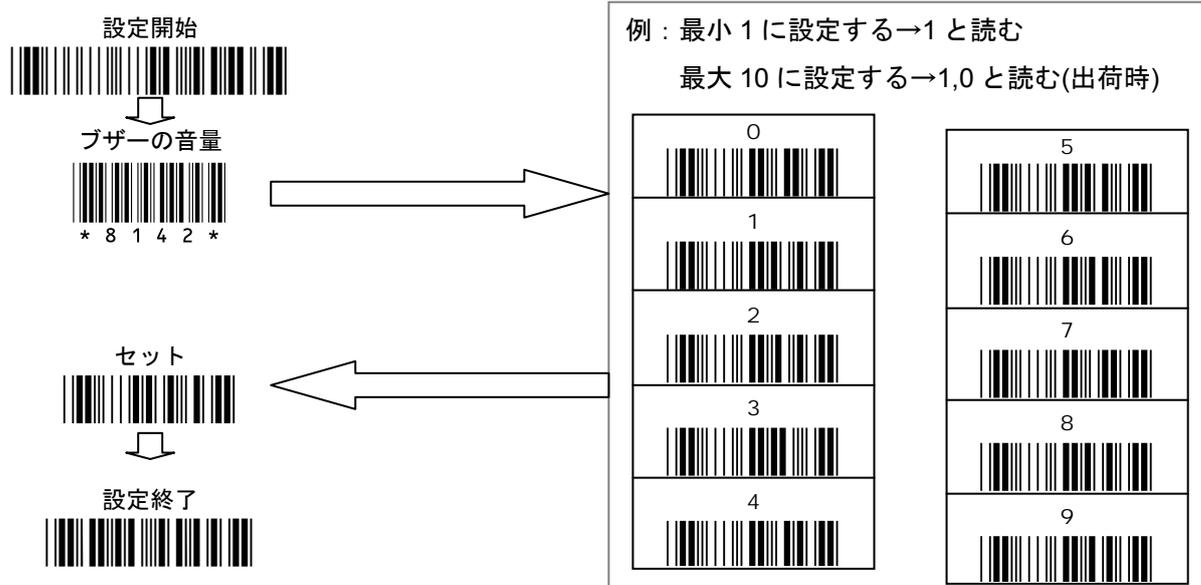
#### 設定例

バーコードデータのみ転送する	設定開始 → ヘッダ/フッタの転送 禁止 → 日時の転送 禁止 → 設定終了
<Memory> (ヘッダ) と <End> (フッタ) を転送しない	設定開始 → ヘッダ/フッタの転送 禁止 → 設定終了
日時を転送しない	設定開始 → 日時の転送 禁止 → 設定終了
日付、時刻、データの間スペースをタブに変更する	設定開始 → 「セパレータ」を上から順に読む → 設定終了



## 2-5-4 ブザーの音量設定 <お好みで設定して下さい>

バーコードを読み取るブザーの音量を設定できます。**設定開始**→**ブザーの音量**→**数字(1~10)**→**セット**→**設定終了**を読み取って下さい。出荷時のブザーの音量は最大（レベル 10）です。



## 2-5-5 バイブレータの設定 <お好みで設定して下さい>

メモリスキャナで読み取るとき、バイブレータの振動で読み取りを確認できます。

**設定開始**→(メモリ)**バイブレータ 許可**→**設定終了**を読み取って下さい。



## 2-5-6 2度読み防止の設定 <お好みで設定して下さい>

メモリスキャナで読み取るとき、同じバーコードを2度読みしない設定ができます。

**設定開始**→(メモリ)**2度読み防止 許可**→**設定終了**を読み取って下さい。



## 2-5-7 Interleaved 2 of 5(ITF)の読み取り設定 <お好みで設定して下さい>

よく使われるコードタイプ Interleaved 2 of 5 (ITF)を読み取る設定です。

**設定開始**→**Interleaved 2 of 5 読み取り 許可**→**設定終了**を読み取って下さい。



## 第 3 章 USB ケーブル式スキャナの使い方

### 3-1 はじめに

本製品は、「USB ケーブル式スキャナ」と「メモリスキャナ」の 2 通りの使い方ができます。この章は USB ケーブル式スキャナでの操作を説明します。

### 3-2 USB ケーブル式スキャナでのバーコードの読み取り

- 1) スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。スキャナはケーブル式スキャナになります。
- 2) データを入力するアプリケーションを立ち上げて下さい（メモ帳などでお試し下さい）。
- 3) **スキャンキー**を押しバーコードを読み取って下さい。アプリケーションのカーソルがある場所に読み取りデータを転送します。

**ご注意** パソコンの言語バーは直接入力に設定して下さい。

パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし[直接入力]を設定して下さい。直接入力が無い場合は下記のように設定して下さい

言語バー（「あ」「A」などを）右クリック→[プロパティ]→([詳細設定]→[全般]タブ)→[編集操作]→[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーを右クリック→[直接入力]を選択する。  
※パソコンにより設定は異なります。

### 3-3 読み取りデータの転送形式

USB ケーブル式スキャナでバーコードを読み取ると、出荷時は「バーコードデータ、改行(CR LF)」の形式で転送します。読み取りデータの転送形式は変更できます。

- ・ 読み取りデータの転送形式は、第 4 章 4-8 蓄積データの転送形式にも反映します。
- ・ 設定方法は第 9 章 設定の方法と第 10 章 設定メニューをお読み下さい。

#### 読み取りデータ転送形式

プリアンブル	プリフィックス	バーコードタイプ	コード ID	桁数	読取データ	(コード ID)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	1-8 桁	可変	1-2 桁	2 桁	(バーコード)	1-2 桁	1-8 桁	1-8 桁 出荷時は改行 (CR LF)

**注** 初期の製品はプリアンブルとポストアンブルそれぞれ 4 桁です

**ご注意** 通常、改行の設定は変更しないで下さい。

改行を変更すると、蓄積データを転送するとき改行なくなりますのでご注意下さい。ポストアンブルの改行 (CR LF) の設定は、メモリスキャナの蓄積データを転送するときの設定と共通の為です。

## 第4章 メモリースキャナの使い方

### 4-1 はじめに

本製品は、「USB ケーブル式スキャナ」と「メモリースキャナ」の2通りの使い方ができます。この章はメモリースキャナでの操作を説明します。

### 4-2 メモリースキャナでのバーコードの読み取り

- 1) スキャナをパソコンから取り外して下さい。スキャナはメモリースキャナになります。
- 2) **スキャンキー**を押してバーコードを読み取って下さい。スキャナ本体にバーコードデータを蓄積します。

### 4-3 読み間違ったデータを1件消去する

**消去キー**を押しながらバーコードを読み取って下さい。スキャナ本体の蓄積データからそのデータを1件消去します。スキャナ本体にそのデータが無い場合、エラーブザーが鳴ります。

### 4-4 蓄積データを転送する

- 1) スキャナとパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。
- 2) データを入力するアプリケーションを立ち上げて下さい（メモ帳などでお試し下さい）。
- 3) **転送キー**（消去キーと共通）を、ブザーが鳴るまで長押しして下さい。アプリケーションのカーソルがある場所に蓄積データを転送します。

**メモ** 蓄積データをパソコンに転送した後も、蓄積データはスキャナに保存されています。

**ご注意** パソコンの言語バーは直接入力に設定して下さい。

パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし[直接入力]を設定して下さい。直接入力が無い場合は下記のように設定して下さい

言語バー（「あ」「A」などを）右クリック→[プロパティ]→([詳細設定]→[全般]タブ)→[編集操作]→[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーを右クリック→[直接入力]を選択する。  
※パソコンにより設定は異なります。

### 4-5 蓄積データをすべて消去する

- 1) スキャナから USB ケーブルを外して下さい。
- 2) **消去キー**をブザーが鳴るまで長押しして下さい。（読取 LED がオレンジ点滅→オレンジ点灯→赤点灯と変わります）

### 4-6 2度読み防止を設定する <お好みで設定して下さい>

メモリースキャナするとき、一度読み取ったデータと同じデータを読み取らないように設定できます。

**第2章 2-5-6 2度読防止の設定**の設定メニューで設定して下さい。

### 4-7 スキャナ本体の日時を設定する <お好みで設定して下さい>

スキャナ本体の日時を設定することができます。

**第2章 2-5-2 スキャナ本体の日時設定（日時合わせ）**の設定メニューで設定して下さい。

## 4-8 蓄積データの転送形式

メモリスキャナで蓄積したデータをパソコンに転送すると「<Memory>、日時とバーコードデータ（の繰り返し）、<End>」の形式で転送します。

- ・ 先頭行にヘッダを転送します。ヘッダはデータの開始を示す文字です。ヘッダの文字は<Memory>です。
- ・ 2行目以降に、蓄積したデータを転送します。出荷時は読み取り日時（日付と時刻）と読み取りデータを転送します。日付、時刻、読み取りデータの間はセパレータ（区切り文字）で区切っています。区切り文字はスペース1桁です。
- ・ 最終行にフッタを転送します。フッタはデータの終了を示す文字です。フッタの文字は<End>です。

蓄積データの転送形式は変更できます。[第2章 2-5-3 蓄積データの転送形式](#)の設定メニューで設定して下さい。

### 4-8-1 基本的な転送形式の図表

#### 蓄積データの転送形式（ヘッダからフッタまでの形式）

行	転送する文字	例	説明
先頭行（1行目）	ヘッダ、改行	<Memory>	データの開始を示す文字
2行目	日時 読み取りデータ 改行	2016/04/05 17:12:05 12345678	日時とバーコードデータの形式は下記「蓄積データ転送時の日時とデータの形式」の通りです。
残りのデータの行	同上	2016/04/06 09:30:25 87654321	同上
最終行	フッタ、改行	<End>	データの終了を示す文字

#### 蓄積データ転送時の日時と読取データの形式（ヘッダとフッタの間の形式）

日付(読取日付)	セパレータ	時刻(読取時刻)	セパレータ	読取データ	ポストアンブル
YYYY/MM/DD	SP(スペース)	hh:mm:ss	SP(スペース)	(バーコード)	CR,LF(改行)

### 4-8-2 詳細な転送形式の図表

第3章の「読み取りデータ転送形式」の設定は、蓄積データの転送にも反映します。

- ・ ヘッダとフッタにもプリアンブル、プリフィックス、サフィックス、ポストアンブルが転送されます。
- ・ プリアンブルの次に日時、次にプリフィックスが転送されます。

#### 蓄積データ転送時のヘッダおよびフッタと読み取りデータ転送形式の出力順

プリアンブル	プリフィックス	ヘッダ(フッタ)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	1-8 桁	<Memory>( <End>)	1-8 桁	1-8 桁 出荷時は改行 (CR LF)

**注** 初期の製品はプリアンブルとポストアンブルそれぞれ4桁です

#### 蓄積データ転送時の日時と読み取りデータ転送形式の出力順

プリアンブル	日付	セパレータ	時刻	セパレータ	プリフィックス	バーコードタイプ	コードID	桁数	読取データ	(コードID)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	YYYY/MM/DD	SP	hh:mm:ss	SP	1-8 桁	可変	1-2 桁	2 桁		1-2 桁	1-8 桁	1-8 桁

**注** ポストアンブルの出荷時の設定は改行(CR LF)です

**ご注意** 通常、改行の設定は変更しないで下さい。

改行を変更すると、蓄積データを転送するとき改行しなくなりますのでご注意ください。ポストアンブルの改行 (CR LF) の設定は、メモリスキャナの蓄積データを転送するときの設定と共通の為です。

### 4-8-3 転送例

```
GGGGGGGGgggggggg<Memory>zzzzzzzz
GGGGGGGG2016/04/05 15:19:43 gggggggg(Code-39)06MABC123zzzzzzzz
GGGGGGGG2016/04/05 16:43:23 gggggggg(Code-39)06AMBC123zzzzzzzz
GGGGGGGGgggggggg<End>zzzzzzzz
```

G：プリアンブル、g：プリフィックス、(Code-39)：バーコードタイプ、06：桁数、M：コードID、ABC123：読み取りデータ、z：サフィックス、改行：ポストアンブル

G、g、zは説明のために適当な文字を設定した例です。出荷時は文字が設定されていません。

## 第5章 メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。



ご注意



読み取り窓を清掃するときは、傷つけないように注意してください。読み取り窓が傷つくと読み取らなくなります。

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。

- ・ **強くこすらない**  
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない  
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 有機溶剤を使用しない  
→窓が溶けて読み取らなくなります。
- ・ 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない  
→本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

コネクタ・ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

定期的の下記のことを確認して下さい。

- ・ コネクタが破損・変形していないか確認する  
→コネクタが異常だと動作しなくなります。
- ・ ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。  
→ケーブルが断線し、動作しなくなります。

## 第6章 困ったときは

### Q:設定の方法を知りたい

A:第9章 設定の方法 をお読み下さい。

### Q:JAN-13(13桁)が12桁で転送してしまう 先頭0が出ない

A: そのバーコードの1桁目が0の場合、バーコードタイプUPC-Aに対し、次の設定をして下さい。

第10章 10-8 UPC-A **設定開始**→**前方から削除**→**0**→**セット**→**設定終了**

### Q:Interleaved 2 of 5(ITF)を読み取らない

A:次の設定をして下さい。第10章 10-13 Interleaved 2 of 5 **設定開始**→**読み取り 許可**→**設定終了**

### Q:Code 39 のスタート/ストップキャラクタ \* を転送したい

A: 次の設定をして下さい。第10章 10-12 Code 39 **設定開始**→**スタート/ストップ転送 許可**→**設定終了**

### Q:NW7 のスタート/ストップキャラクタ A を転送したい

A: 次の設定をして下さい。第10章 10-16 Codabar / NW7 **設定開始**→**スタート/ストップ転送 許可**→**設定終了**

### Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の0が消える

A:Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定して下さい

### Q:Excel に蓄積データを転送したとき、日付、時刻、バーコードデータをセルごとに分けて転送したい

A: 次の設定をして下さい。第2章 2-5-3 蓄積データの転送形式 **設定開始**→「セパレータ」を上から順に読む→**設定終了**

### Q:Enter(改行)の設定をしたが改行しない、データが横につながって出る

A:パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし[直接入力]を設定して下さい。直接入力がない場合は下記のように設定して下さい

IME(言語バー、「あ」などを)右クリック→[プロパティ]→([詳細設定]→[全般]タブ)→[編集操作]→[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]

以上でIME(言語バー)を右クリックして[直接入力]を選択可能になります。パソコンにより設定は異なります。

## 第7章 仕様

## 仕様表

型番	CM-200M
プロセッサ	32 bits CPU
メモリ	128KB (JAN-13 を年月日時刻付きで 4,600 件蓄積)
キー	2 (スキャン、消去/転送)
読み取り バーコード	JAN,EAN,UPC,Code 39, Interleaved 2 of 5 (ITF), Industrial 2 of 5, Matrix 2 of 5, Codabar(NW7), Code 93, Code 11,Code 128,GS1-128, MSI,Plessey,Telepen, GS1 Databar (RSS),GS1 Databar Limited, GS1 Databar Stacked, GS1 Databar Expanded, GS1 Databar Expanded Stacked
光学仕様	光源 : レーザー 650nm スキャン速度 : 100 スキャン/秒
読取性能	分解能 : 0.125mm 読取深度 : 50~190mm (分解能 0.25mm、PCS0.9) PCS : 0.45 以上
バッテリー	リチウムポリマーバッテリー 3.7V,420mAh (USB ポートで充電)
読取回数	メモリモード : 23,000 回(5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オフ)
USB	USB mini B コネクタ(メス) クラス:USB HID
LED 通知	2、3 色(緑: 読み取り、オレンジ:転送モード、赤:バッテリー通知)
ブザー通知	あり (音量 10 段階またはブザー禁止に設定可能)
バイブレータ	あり (禁止に設定可能)
温度	動作 : -10 °C~+40 °C
湿度	10%-90%RH(結露なきこと)
寸法	(L x W x H) 68 x 37 x 22 mm
重量	38g(内蔵バッテリー含む)
認証	FCC / CE / VCCI / RoHS 指令準拠
動作確認 OS	Windows 10(64bit/32bit),Windows8.1,Windows8,Windows7

**注意** バーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。

**注意** GS1-128 は AI による編集はできません。AI カッコを付ける設定はできます。

**注意** すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

## 第 8 章 出荷時の初期値一覧、コード ID 一覧

## 8-1 初期値の一覧

設定の初期値です。

## 初期値の一覧表

## 動作設定 キーボード設定

モード	キーボード配列	初期値	参照章
ケーブル/メモリ	キーボード配列	英語キーボード	10-2

モード	Caps Lock	初期値	参照章
ケーブル/メモリ	Caps Lock	オート	10-2

モード	数字データ	初期値	参照章
ケーブル/メモリ	数字データ	フルキーとしてデータを転送	10-2

モード	転送時間	初期値	参照章
ケーブル/メモリ	1文字間の転送時間	0 (1msec)	10-2
	1レコード間の転送時間	0 (10msec)	10-2
メモリのみ	1レコード間の転送時間	0 (10msec)	10-2

## 動作設定 スキャナ本体の日時、日時の転送、日時の形式、ヘッダ/フッタ

モード	日時設定	初期値	参照章
メモリ	スキャナ本体の日時設定	2007/01/01 00:00:00 (開封時すすんでいる場合あり)	10-3
	日時の転送	禁止	10-3
	セパレータ	SP (設定値20)	10-3
	日付の形式	YYYY/MM/DD	10-3
	時刻の形式	hh:mm:ss	10-3
	ヘッダ/フッタの転送	許可	10-3

## 初期値の一覧表(続き)

## 動作設定 スキャンニング

モード	スキャンモード	初期値	参照 章
ケーブル	スキャンモード	グッドリードオフ	10-4

モード	レーザーの点灯時間	初期値	参照 章
ケーブル	レーザーの点灯時間	5 (1000msec)	10-4
メモリ	レーザーの点灯時間	5 (1000msec)	10-4

モード	同一コードを読み取るまでの時間	初期値	参照 章
ケーブル	同一コードを読み取るまでの時間	5 (100msec)	10-4

モード	2度読み防止	初期値	参照 章
ケーブル	2度読み防止	禁止	10-4
メモリ	2度読み防止	禁止	10-4

モード	読み取り一致	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	読み取り一致	禁止	10-4
ケーブル/メモリ	読み取り一致回数	2 (回)	10-4

## 動作設定 ブザー、バイブレータ

モード	起動時のブザー	初期値	参照 章
ケーブル	起動時のブザー	許可	10-5

モード	読み取りブザー	初期値	参照 章
ケーブル	読み取りブザー	許可	10-5
	音調	27 (100Hz)	10-5
	鳴る長さ	10 (10msec)	10-5
メモリ	読み取り	許可	10-5

モード	ブザーの音量	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	ブザーの音量	10	10-5

モード	バイブレータ	初期値	参照 章
ケーブル	バイブレータ	禁止	10-5
メモリ	バイブレータ	禁止	10-5
ケーブル/メモリ	バイブの長さ	10 (10msec)	10-5

## 初期値の一覧表(続き)

## 動作設定 読み取りデータの形式

モード	プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブルの転送	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	プリアンブルの転送	許可	10-6
	プリアンブル データ	(なし)	10-6
	プリフィックス データ	(なし)	10-6
	サフィックス データ	(なし)	10-6
	ポストアンブルの転送	許可	10-6
	ポストアンブル データ	CR LF (設定値 0D 0A)	10-6

モード	コードタイプ/コードID/桁数	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	コードタイプの転送	禁止	10-6
	コードIDの転送	禁止	10-6
	コードIDの位置	データの前	10-6
	桁数の転送	禁止	10-6

モード	アルファベット大文字小文字の変換	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	アルファベット大文字小文字の変換	変換しない	10-6

## 動作設定 最小読取桁数/最大読取桁数

モード	最小読取桁数/最大読取桁数	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	最小読取桁数	0	10-7
ケーブル/メモリ	最大読取桁数	0	10-7

## 初期値の一覧表(続き)

## 読取設定

バーコードの読み取り設定		初期値	参照 章	
UPC-A	読み取り	許可	10-8	
	チェックデジット転送	許可	10-8	
	アドオンの読み取り	禁止	10-8	
	アドオンの確認	禁止	10-8	
	アドオンの確認回数	20	10-8	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-8	
	データの削除	前方から削除	1 ※ファームウェア0001-XXXXは0	10-8
		後方から削除	0	10-8
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-8
		挿入データ1の位置	0	10-8
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-8
		挿入データ1	(なし)	10-8
	コードIDの文字		A (設定値 41)	10-8
UPC-E	読み取り	許可	10-9	
	チェックデジット転送	許可	10-9	
	アドオンの読み取り	禁止	10-9	
	アドオンの確認	禁止	10-9	
	アドオンの確認回数	20	10-9	
	13桁に変換	禁止	10-9	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-9	
	データの削除	前方から削除	0	10-9
		後方から削除	0	10-9
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-9
		挿入データ1の位置	0	10-9
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-9
		挿入データ1	(なし)	10-9
	コードID	コードID	E (設定値 45)	10-9
		サブコードID	E (設定値 45)	10-9
EAN 13/ EAN 13	読み取り	許可	10-9	
	チェックデジット転送	許可	10-10	
	アドオンの読み取り	禁止	10-10	
	アドオンの確認	なし	10-10	
	アドオンの確認回数	20	10-10	
	ISBN/ISSNに変換	禁止	10-10	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-10	
	データの削除	前方から削除	0	10-10
		後方から削除	0	10-10
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-10
		挿入データ1の位置	0	10-10
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-10
		挿入データ1	(なし)	10-10
コードID	コードID	F (設定値 46)	10-10	
	サブコードID	F (設定値 46)	10-10	
EAN 8/ EAN 8	読み取り	許可	10-11	
	チェックデジット転送	許可	10-11	
	アドオンの読み取り	禁止	10-11	
	アドオンの確認	禁止	10-11	
	アドオンの確認回数	20	10-11	
	13桁に変換	禁止	10-11	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-11	
	データの削除	前方から削除	0	10-11
		後方から削除	0	10-11
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-11
		挿入データ1の位置	0	10-11
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-11
		挿入データ1	(なし)	10-11
	コードID	コードID	FF (設定値 46 46)	10-11
		サブコードID	FF (設定値 46 46)	10-11

## 初期値の一覧表(続き)

## 読取設定

バーコードの読み取り設定		初期値	参照 章	
Code 39	読み取り	許可	10-12	
	スタート/ストップ転送	禁止	10-12	
	チェックデジット確認	禁止	10-12	
	チェックデジット転送	禁止	10-12	
	Code 39の形式	標準	10-12	
	最小読取桁数	4	10-12	
	最大読取桁数	0	10-12	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-12	
	データの削除	前方から削除	0	10-12
		後方から削除	0	10-12
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-12
		挿入データ1の位置	0	10-12
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-12
		挿入データ1	(なし)	10-12
コードID	コードID	M (設定値 4D)	10-12	
	サブコードID	M (設定値 4D)	10-12	
Interleaved 2 of 5 / ITF	読み取り	禁止	10-13	
	チェックデジット確認	禁止	10-13	
	チェックデジット転送	禁止	10-13	
	最小読取桁数	4	10-13	
	最大読取桁数	0	10-13	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-13	
	データの削除	前方から削除	0	10-13
		後方から削除	0	10-13
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-13
		挿入データ1の位置	0	10-13
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-13
		挿入データ1	(なし)	10-13
コードID	I (設定値 49)	10-13		
Industrial 2 of 5	読み取り	禁止	10-14	
	チェックデジット確認	禁止	10-14	
	チェックデジット転送	禁止	10-14	
	最小読取桁数	4	10-14	
	最大読取桁数	0	10-14	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-14	
	データの削除	前方から削除	0	10-14
		後方から削除	0	10-14
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-14
		挿入データ1の位置	0	10-14
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-14
		挿入データ1	(なし)	10-14
コードID	J (設定値 4A)	10-14		
Matrix 2 of 5	読み取り	禁止	10-15	
	チェックデジット確認	禁止	10-15	
	チェックデジット転送	禁止	10-15	
	最小読取桁数	0	10-15	
	最大読取桁数	0	10-15	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-15	
	データの削除	前方から削除	0	10-15
		後方から削除	0	10-15
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-15
		挿入データ1の位置	0	10-15
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-15
挿入データ1		(なし)	10-15	
コードID	G (設定値 47)	10-15		

## 初期値の一覧表(続き)

## 読取設定

バーコードの読み取り設定		初期値	参照 章	
Codabar / NW7	読み取り	許可	10-16	
	スタート/ストップ転送	禁止	10-16	
	スタート/ストップ転送形式	ABCD/ABCD	10-16	
	スタート/ストップ同一確認	禁止	10-16	
	チェックデジット確認 (MOD16)	禁止	10-16	
	チェックデジット転送	禁止	10-16	
	最小読取桁数	0	10-16	
	最大読取桁数	0	10-16	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-16	
	データの削除	前方から削除	0	10-16
		後方から削除	0	10-16
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-16
		挿入データ1の位置	0	10-16
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-16
		挿入データ1	(なし)	10-16
	コードID	N (設定値 4E)	10-16	
Code 128	読み取り	許可	10-17	
	転送形式	標準	10-17	
	区切文字 (2つ目のFNC1)	() (設定値 28 29)	10-17	
	最小読取桁数	0	10-17	
	最大読取桁数	0	10-17	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-17	
	データの削除	前方から削除	0	10-17
		後方から削除	0	10-17
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-17
		挿入データ1の位置	0	10-17
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-17
		挿入データ1	(なし)	10-17
	コードID	コードID	K (設定値 4B)	10-17
		サブコードID	N (設定値 4B)	10-17
	Code 93	読み取り	禁止	10-18
		チェックデジット確認	2桁	10-18
チェックデジット転送		禁止	10-18	
最小読取桁数		0	10-18	
最大読取桁数		0	10-18	
先頭から連続する0の削除		禁止	10-18	
データの削除		前方から削除	0	10-18
		後方から削除	0	10-18
挿入データの位置		挿入データ0の位置	0	10-18
		挿入データ1の位置	0	10-18
挿入データ		挿入データ0	(なし)	10-18
		挿入データ1	(なし)	10-18
コードID	L (設定値 4C)	10-18		
Code 11	読み取り	禁止	10-19	
	チェックデジット確認	2桁	10-19	
	チェックデジット転送	禁止	10-19	
	最小読取桁数	0	10-19	
	最大読取桁数	0	10-19	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-19	
	データの削除	前方から削除	0	10-19
		後方から削除	0	10-19
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-19
		挿入データ1の位置	0	10-19
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-19
		挿入データ1	(なし)	10-19
コードID	O (設定値 4F)	10-19		

## 初期値の一覧表(続き)

## 読取設定

バーコードの読み取り設定		初期値	参照 章	
MSI	読み取り	禁止	10-20	
	チェックデジット確認	Mod10	10-20	
	チェックデジット転送	禁止	10-20	
	最小読取桁数	0	10-20	
	最大読取桁数	0	10-20	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-20	
	データの削除	前方から削除	0	10-20
		後方から削除	0	10-20
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-20
		挿入データ1の位置	0	10-20
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-20
		挿入データ1	(なし)	10-20
	コードID	P (設定値 50)	10-20	
Plessey	読み取り	禁止	10-21	
	チェックデジット確認	禁止	10-21	
	チェックデジット転送	禁止	10-21	
	最小読取桁数	0	10-21	
	最大読取桁数	0	10-21	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-21	
	データの削除	前方から削除	0	10-21
		後方から削除	0	10-21
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-21
		挿入データ1の位置	0	10-21
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-21
		挿入データ1	(なし)	10-21
	コードID	R (設定値 52)	10-21	
Telepen	読み取り	禁止	10-22	
	転送形式	Numeric	10-22	
	チェックデジット確認	禁止	10-22	
	チェックデジット転送	禁止	10-22	
	最小読取桁数	0	10-22	
	最大読取桁数	0	10-22	
	先頭から連続する0の削除	禁止	10-22	
	データの削除	前方から削除	0	10-22
		後方から削除	0	10-22
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-22
		挿入データ1の位置	0	10-22
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-22
		挿入データ1	(なし)	10-22
コードID	S (設定値 53)	10-22		

## 初期値の一覧表(続き)

## 読取設定

バーコードの読み取り設定		初期値	参照 章	
GS1 Databar Omnidirectional / GS1データバー標準型	読み取り	禁止	10-23	
	アプリケーション識別子の転送方法	禁止	10-23	
	先頭に e0転送	禁止	10-23	
	最終桁の転送	禁止	10-23	
	データの削除	前方から削除	0	10-23
		後方から削除	0	10-23
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-23
		挿入データ1の位置	0	10-23
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-23
		挿入データ1	(なし)	10-23
コードID	T (設定値 54)	10-23		
GS1 Databar Limited / GS1データバー限定型	読み取り	禁止	10-24	
	アプリケーション識別子の転送方法	禁止	10-24	
	先頭に e0転送	禁止	10-24	
	最終桁の転送	禁止	10-24	
	データの削除	前方から削除	0	10-24
		後方から削除	0	10-24
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-24
		挿入データ1の位置	0	10-24
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-24
		挿入データ1	(なし)	10-24
コードID	U (設定値 55)	10-24		
GS1 Databar Stacked / GS1データバー標準二層型	読み取り	禁止	10-25	
	アプリケーション識別子の転送方法	禁止	10-25	
	先頭に e0転送	禁止	10-25	
	最終桁の転送	禁止	10-25	
	データの削除	前方から削除	0	10-25
		後方から削除	0	10-25
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-25
		挿入データ1の位置	0	10-25
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-25
		挿入データ1	(なし)	10-25
コードID	V (設定値 56)	10-25		
GS1 Databar Expanded / GS1データバー拡張二層型	読み取り	禁止	10-26	
	アプリケーション識別子の転送方法	禁止	10-26	
	先頭に e0転送	禁止	10-26	
	最終桁の転送	禁止	10-26	
	データの削除	前方から削除	0	10-26
		後方から削除	0	10-26
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-26
		挿入データ1の位置	0	10-26
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-26
		挿入データ1	(なし)	10-26
コードID	W (設定値 57)	10-26		
GS1 Databar Expanded Stacked / GS1データバー拡張多層型	読み取り	禁止	10-27	
	アプリケーション識別子の転送方法	禁止	10-27	
	先頭に e0転送	禁止	10-27	
	最終桁の転送	禁止	10-27	
	データの削除	前方から削除	0	10-27
		後方から削除	0	10-27
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	10-27
		挿入データ1の位置	0	10-27
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	10-27
		挿入データ1	(なし)	10-27
コードID	X (設定値 58)	10-27		

## 8-2 コード ID 一覧

コード ID は初期値の一覧表にも表示しています。見やすくするためにまとめた表です。

コード ID 一覧表

バーコードシンボル	コードID (ASCII)	コードIDの 設定値(HEX)	サブコードID (ASCII)	サブコードIDの設定値 (HEX)
UPC-A	A	41		
UPC-E	E	45	E	45
EAN 13 / JAN 13	F	46	F	46
EAN 8 / JAN 8	FF	46 46	FF	46 46
Code 39	M	4D		
Interleaved 2 of 5	I	49		
Industrial 2 of 5	H	48		
Matrix 2 of 5	G	47		
Codabar / NW7	N	4E		
Code 128	K	4B	K	4B
Code 93	L	4C		
Code 11	O	4F		
MSI	P	50		
Plessey	R	55		
Telepen	S	53		
GS1 Databar	T	54		
GS1 Databar Limited	U	55		
GS1 Databar Stacked	V	56		
GS1 Databar Expanded	W	57		
GS1 Databar Expanded Stacked	X	58		

**メモ** 次の設定時、コード ID の代わりにサブコード ID を転送します。

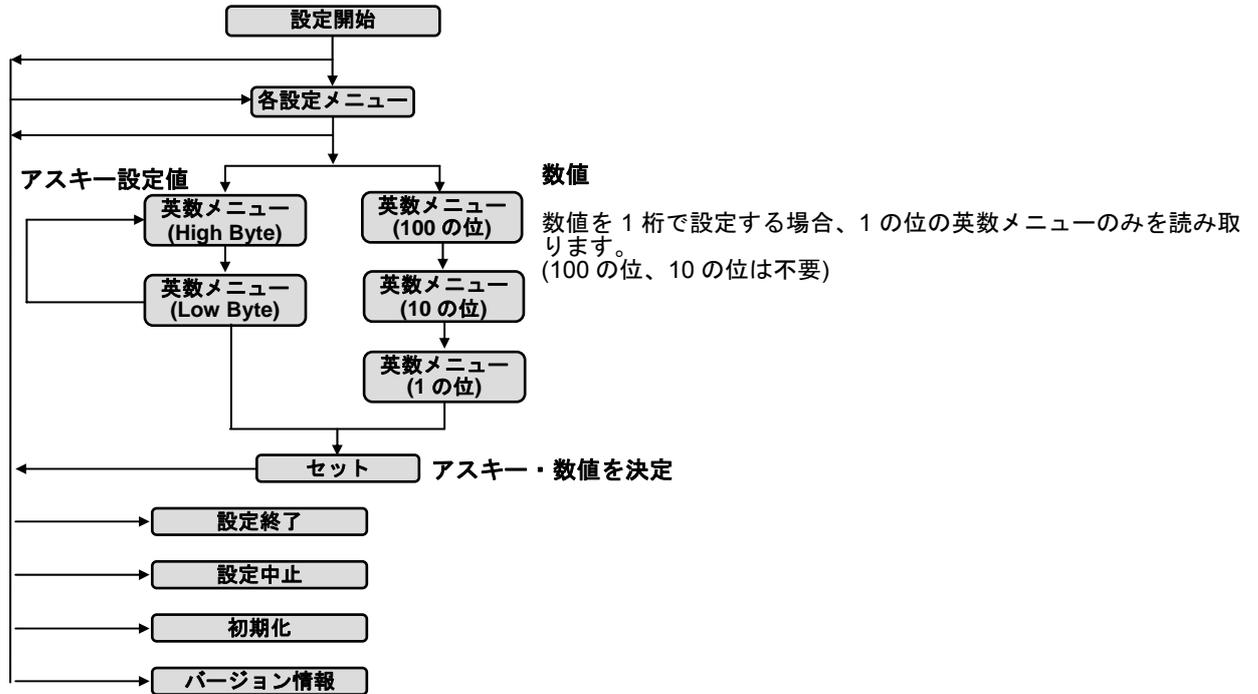
- ・ UPC-E・・・「13桁に変換する」設定時
- ・ EAN13/JAN13・・・「ISBN/ISSN形式に変換する」設定時
- ・ EAN8/JAN8・・・「13桁に変換する」設定時
- ・ Code 128・・・転送形式を「UCC-128」設定時

## 第 9 章 設定の方法

### 9-1 設定について

本製品は第 10 章の設定メニュー(設定用バーコード)を読み取ると設定を変更することが出来ます。設定は本製品の不揮発性メモリに保存されます。

### 9-2 設定フローチャート



## 9-3 設定の初期化

次の設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 初期化

**メモ** 初期化しても蓄積データは消去されず残っています。日時の設定（日時合わせ）は設定した日時のままです。

## 9-4 基本的な設定

禁止（オフ）、許可（オン）、動作を選択する設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 各設定 → 設定終了

**ご案内** 一部の設定は、USB ケーブル式スキャナとメモリスキャナのモード別に設定します。メニュー表の「モード」を確認し、設定するモードの設定メニューを読み取って下さい。読取設定（コードタイプごとの設定）は、すべてのモード共通の設定です。

**例** メモリスキャナの2度読み防止を許可にする

設定開始 → (2度読み防止/メモリ)許可 → 設定終了

**例** メモリモードのバイブレータを許可（オン）にする

設定開始 → (バイブレータ/メモリ)許可 → 設定終了

## 9-5 数値・桁数の設定

設定メニューの下か横に「→0~255(桁/0)」など数字の指示がある設定は次の順で読み取って下さい。「0~255」なら0から255の範囲で数字を設定します。カッコは設定値の「単位/初期値」です。(桁/0)なら桁を設定し、初期値は0桁の意味です。

英数メニューとセットは巻末にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー1~3桁 → セット → 設定終了

**例** ブザー音量を最小の1に設定する（出荷時の初期設定は最大の10）

設定開始 → (ケーブル/メモリ共通)ブザー音量 → 1 → セット → 設定終了

**注意** 設定メニュー中に指示のある桁数の最大値は論理値です。実際にはスキャナが光学的に読み取りできる範囲で読み取ります。実際に読み取るバーコードの桁数などを確認して設定して下さい。

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

## 9-6 アスキーの設定（文字・キーの設定）

アスキー(ASCII)とは文字やキーを表す 2 桁の設定値です。メニュー表に「→アスキー(8 桁)」などアスキーの指示がある設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューは巻末にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー → 英数メニュー → セット → 設定終了

アスキーの設定値

英数メニュー(巻末)2 つで 1 文字 (1 キー) を表します。

### 9-6-1 アスキーの設定値の求め方

例えば文字「A」の設定値を求める場合、アスキーコード表（巻末）から「A」を見つけます。A は行の見出し(High)が 4、列の見出し(Low)が 1 です。「A」の設定値は「41」となります。英数メニューは「4」「1」と 1 個ずつ読み取ります。

**例** プリフィックスに「A (設定値 41)」を設定する

設定開始 → プリフィックスのデータ → 4 → 1 → セット → 設定終了

**メモ** プリフィックス、サフィックス、プリアンブル、ポストアンブルについては 13-7(次項)をお読み下さい。

### 9-6-2 複数のアスキー設定

設定メニューに「→アスキー(8 桁)」と指示がある場合、8 桁までアスキー（文字やキー）を設定できます。

複数の文字とキーを設定する場合、英数メニューでアスキーの設定値を連続して読み取ります。

**例** プリフィックスに「AB1 (設定値 41 42 31)」を設定する

設定開始 → プリフィックスのデータ → 4 → 1 → 4 → 2 → 3 → 1 → セット → 設定終了

### 9-6-3 ファンクションキーの設定

アスキーコード表（巻末）の「00」から「1F」までの設定値はファンクションキーとして転送します。

例えば設定値「09」は Tab（タブ）、設定値「0D」は Enter（改行）となります。

**例** 読み取りデータの後に転送するキーを「Tab (設定値 09)」に設定する

設定開始 → ポストアンブルの転送 許可 → ポストアンブル データ → 0 → 9 → セット → 設定終了

### 9-6-4 アスキーの消去

アスキーの設定値を「00」と設定すると、消去と同等になります。

または、初期化して下さい。

**メモ** アスキーの設定値「00」は実際には Null キャラクタとなります。Null はほとんどのアプリケーションでは無視されますが、アプリケーションによってはキャラクタとして反応する場合があります。完全に消去するには初期化してください。

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります。

**注意** 古い製品（初期のファームウェア）は「00」1 回分の設定では消去できません。設定したキャラクタの数だけ「00」を設定して下さい。例えば ABC(3 キャラクタ)を設定していた場合、00、00、00、セットと設定して下さい。

## 9-7 読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定

動作設定の「**プリアンブルのデータ**」、「**プリフィックスのデータ**」、「**サフィックスのデータ**」、「**ポストアンブルのデータ**」にアスキーを設定すると、すべての読み取りデータの前後に文字やキーを追加して転送します。

プリアンブルとポストアンブルの設定は転送の「**許可**」と「**禁止**」の設定があります。「**禁止**」に設定すると転送しませんが、設定した文字やキーは保持されています。

### 読み取りデータ転送形式

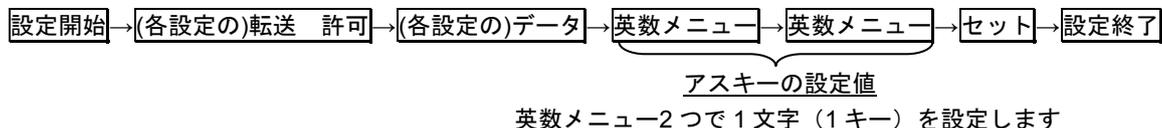
プリアンブル	プリフィックス	バーコードタイプ	コードID	桁数	読取データ	(コードID)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	1-8 桁	可変	1-2 桁	2 桁		1-2 桁	1-8 桁	1-8 桁

**注** 初期の製品 0001-0020 以下はプリアンブルとポストアンブルそれぞれ 4 桁です

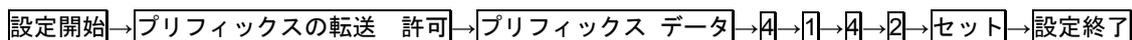
<b>プリアンブル</b>	すべてのデータの前方に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。
<b>プリフィックス</b>	プリアンブルの次に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。 <b>注意</b> 蓄積データ転送時は、日時の後にプリフィックスを追加します。第 4 章をお読み下さい。
<b>サフィックス</b>	読み取りデータの後に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。
<b>ポストアンブル</b>	すべてのデータの後方に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。 出荷時は Enter (アスキーの CR LF 設定値 0D 0A) が設定されています。 USB HID では設定値 0D のみで Enter となります <b>注意</b> 通常、ポストアンブルの設定 (出荷時の Enter、改行) は変更しないで下さい。 改行を変更すると、蓄積データを転送するとき改行しなくなりますのでご注意下さい。ポストアンブルの改行 (CR LF) の設定は、メモリスキャナの蓄積データを転送するときの設定と共通の為です。

### 9-7-1 設定の方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューとセットは巻末にあります。

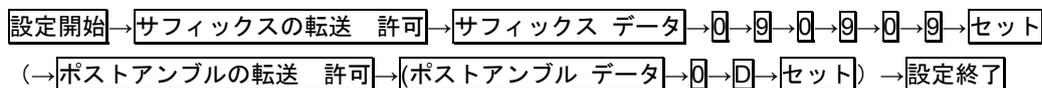


**例** 読み取りデータの前に「A B(設定値 41 42)」を設定する



**例** 読み取りデータの後に、Tab(設定値 09)を 3 回、Enter(設定値 0D)を 1 回転送する

※ ( ) は、出荷時の初期値です。この例の場合、省略してかまいません。



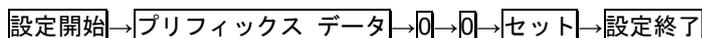
**メモ** アスキーの設定値については 9-6 アスキーの設定をお読み下さい

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

### 9-7-2 設定の消去

アスキーを 00 に設定して下さい。または初期化してください。(関連の説明：第 9 章 9-6-4 を参照)

**例** プリフィックスに設定した文字を消去する



**注意** 古い製品 (初期のファームウェア) は「00」1 回分の設定では消去できません。設定したキャラクタの数だけ「00」を設定して下さい。例えば ABC(3 キャラクタ)を設定していた場合、00、00、00、セットと設定して下さい。

## 9-8 バーコードタイプ、コードID、桁数を転送する設定

動作設定に「バーコードタイプ転送」、「コードID転送」、「桁数転送」の設定があります。

これらの設定を「許可」に設定するとすべての読み取りデータに情報を追加して転送します。

### 読み取りデータ転送形式

プリアンブル	プリフィックス	バーコードタイプ	コードID	桁数	読取データ	(コードID)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	1-8 桁	可変	1-2 桁	2 桁		1-2 桁	1-8 桁	1-8 桁

**注** 初期の製品 0001-0020 以下はプリアンブルとポストアンブルそれぞれ 4 桁

<b>バーコードタイプ</b>	読み取ったバーコードの種類です。 <b>例</b> Code39 のデータ 1234→(Code-39)1234 と転送します。
<b>コードID</b>	読み取ったバーコードの種類を識別する 1 文字または 2 文字です。 コードID の位置は読み取りデータの前か後を設定できます。 コードID の一覧は第 12 章「12-2 コードID 一覧」をお読み下さい。 <b>例</b> Code128 のデータ 12345→K12345 と転送します。
<b>桁数</b>	読み取ったバーコードの桁数です。2 桁で転送します。 <b>例</b> 6 桁のデータ 123456 の場合→06123456 と転送します。

### コードIDの文字の設定変更

各コードタイプの「コードIDの文字」の設定で、コードIDの文字を変更できます。

**例** Code39 のコードID を「Z (設定値 5A)」に設定する (初期値は M)

設定開始 → (Code39)コードIDの文字 → 5 → A → セット → 設定終了

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

## 9-9 1 桁目から連続する 0 (ゼロ) を削除する設定

読取設定のコードタイプごと、「1 桁目から連続する 0 を削除」の設定があります。「許可」に設定すると 1 桁目から連続する 0 を削除して、0 以外の数字・文字がある桁からデータを転送します。

例えば会員番号などのバーコードが前方 (左側) を連続した 0 で埋めているとき、0 を削除して転送できます。

### 設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → (1 桁目から連続する 0 を削除)許可 → 設定終了

**例** NW7 の 1 桁目から連続する 0 を削除する

000056789010→56789010 と転送する。

設定開始 → (NW7)1 桁目から連続する 0 の削除 許可 → 設定終了

## 9-10 読み取りデータの前方と後方を削除する設定

読取設定のコードタイプごとに「データの削除 前方から削除」と「データの削除 後方から削除」の設定があります。設定すると読み取りデータの前方または後方からデータを削除します。

前方から削除	1桁目から後方に向かって設定した桁数を削除します。
後方から削除	後方から前方に向かって設定した桁数を削除します。

### 設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 英数メニュー → セット → 設定終了

**例** Code 39 の前方から 3 桁を削除する。1234567890 → 4567890 と転送する

設定開始 → (Code 39)データの削除 前方から削除 → 0 → 3 → セット → 設定終了

**例** Code 39 の後方から 4 桁を削除する。1234567890 → 123456 と転送する

設定開始 → (Code 39)データの削除 後方から削除 → 0 → 4 → セット → 設定終了

### 元に戻す方法 (削除しない)

次の順で次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 0 → 0 → セット → 設定終了

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

### 注意 「UPC-A」の「前方から削除」について

現行の製品 (ファームウェアバージョン 0002.XXXX、2013 年 8 月以降) では、UPC-A(12 桁のバーコード)のみ、「前方から削除」の初期値が「1」(1 桁削除)になっています。UPC-A の先頭桁を調整するときは、下記を参照して設定して下さい。

UPC-A に設定したいこと	設定
先頭に 0 を付けて 13 桁で転送する	設定開始 → UPC-A 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了
UPC-A をそのまま 12 桁で転送する (出荷時の状態)	設定開始 → UPC-A 前方から削除 → 1 → セット → 設定終了
先頭 1 桁を削除し 11 桁で転送する	設定開始 → UPC-A 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

**メモ** 以前の製品 (ファームウェアバージョン 0001.XXXX) は UPC-A の先頭に 0 を付けて 13 桁で転送します。UPC-A の「前方から削除」の初期値は「0」です。UPC-A を 12 桁で転送するには設定開始 → UPC-A 前方から削除 → 1 → セット → 設定終了を設定して下さい。

## 9-11 読み取りデータに文字やキーを挿入する設定

読取設定のコードタイプごとにデータの挿入メニューがあります。

挿入は2箇所まで設定できます。挿入する桁の位置は「挿入データ0の位置」と「挿入データ1の位置」のメニューで設定します。

<b>挿入データ0の位置</b>	1 箇所目の挿入の桁位置を設定します。 桁を0に設定すると、バーコードの先頭に挿入データが付きます。1に設定すると、1桁目の後に挿入データが付きます。
<b>挿入データ1の位置</b>	2 箇所目の挿入の桁位置です。（桁の設定は上記と同様）

挿入するデータは「挿入データ0」と「挿入データ1」のメニューで設定します。

<b>挿入データ0</b>	1 箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2 桁まで設定できます。
<b>挿入データ1</b>	2 箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2 桁まで設定できます。

### 挿入のイメージ図 1234567890 に挿入を設定する例

123	挿入データ0の位置 →3を設定	456	挿入データ1の位置 →6を設定	7890
	挿入データ0 →Tabを設定		挿入データ1 →ABを設定	

### 設定方法

設定メニューの読み取り方は下記の例を参照して下さい。

**例** Code 39 の3桁目の後に Tab、6桁目の後に A を挿入する。

1234567890→123 Tab 456AB7890 と転送する。

#### 設定開始

→(Code 39)挿入データ0の位置→3→セット  
 →(Code 39)挿入データ0→0→9→セット  
 →(Code 39)挿入データ1の位置→6→セット  
 →(Code 39)挿入データ1→4→1→4→2→セット→設定終了

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

## 第 10 章 設定メニュー

## 10-1 初期化、設定中止、バージョン情報

	設定開始	このページのメニューは <b>設定終了が不要</b> です
---	------	-------------------------------

## システムメニュー

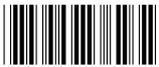
モード	システムメニュー
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	初期化  * Z A D E * ----- スキャナを工場出荷時の設定に戻します。
	設定中止  * Z E X T * ----- 設定メニューを読み間違ったときなどに読み取ると、設定を中止し、設定モードを終了します。
	バージョン情報  * Z V E R * ----- メモ帳などを開いて読み取って下さい。スキャナのバージョン情報を転送します。

## 10-2 動作設定 キーボード設定

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

キーボード配列 転送データの記号文字が正しくない場合は「日本キーボード」を設定して下さい。

モード	英語キーボード	日本キーボード
ケーブル/メモリ共通	*  * 1 D C 0 *	 * 1 D C 2 *

## Caps Lock

モード	オート	Caps Lock オフ	Caps Lock オン	Alt+テンキー
ケーブル/メモリ共通	*  * 1 B 8 0 *	 * 1 B 8 3 *	 * 1 B 8 2 *	 * 1 B 8 1 *

## 数字データ

モード	フルキーとして数字データを転送	テンキーとして数字データを転送
ケーブル/メモリ共通	*  * 1 A 7 0 *	 * 1 A 7 1 *

転送時間 文字抜けが発生するときに設定して下さい。

モード	1文字間の転送時間	1レコード間の転送時間
ケーブル/メモリ共通	 * 1 0 5 2 * →0-255(1ms/0)→セット→設定終了	 * 1 0 6 2 * →0-255(10ms/0)→セット→設定終了
メモリのみ 注 バージョン 0002-XXXX 以上が対応	(なし)	 * 7 0 4 2 * →0-255(10ms/0)→セット→設定終了

### 10-3 動作設定 スキャナ本体の日時、日時の転送、日時の形式、ヘッダ/フッタ

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

**日時と転送形式** 転送する蓄積データ全体の先頭にヘッダ<Memory>、後尾にフッタ<end>が転送されます。

日付(読み取り日付)	セパレータ	時刻(読み取り時刻)	セパレータ	読み取りデータ	ポストアンブル
YYYY/MM/DD	SP(スペース)	hh:mm:ss	SP(スペース)	バーコードデータ	CR,LF(改行)

**スキャナ本体の日時設定** 本体の日時を設定します。

モード	日時の設定	備考
メモリ	 * Z C L K * →数値10桁→セット→設定終了	出荷時の設定 2007/01/01 00:00 です <b>設定例</b> 2016/04/27 10:30 に設定するなら、次に巻末の数字メニュー1604271030、セット、設定終了を読む

**日時の転送** 許可に設定すると読み取り日時（日付けと時刻の両方）を読み取りデータとともに転送します。

モード	禁止	許可	オプション
メモリ	 * 7 A 1 0 *	*  * 7 A 1 1 *	セパレータ  * 7 0 7 A * →アスキー1桁 (SP)→セット→設定終了

**日付の形式** Y(年)、M(月)、D(日)の形式。

モード	形式			
メモリ	* YYYY/MM/DD  * 7 B D 0 *	MM/DD/YYYY  * 7 B D 1 *	YY/MM/DD  * 7 B D 2 *	MM/DD/YY  * 7 B D 3 *
	YYYY-MM-DD  * 7 B D 4 *	MM-DD-YYYY  * 7 B D 5 *	YY-MM-DD  * 7 B D 6 *	MM-DD-YY  * 7 B D 7 *

**時刻の形式** h(時)、m(分)、s(秒)の形式。

モード	形式	
メモリ	* hh:mm:ss  * 7 B 9 0 *	hh:mm  * 7 B 9 1 *

**ヘッダ/フッタの転送** ヘッダは蓄積データの前頭につく文字<Memory>、フッタは蓄積データの後尾につく文字<end>です。

モード	禁止(オフ)	許可(オン)
メモリ	 * 7 A 0 0 *	*  * 7 A 0 1 *

### 10-4 動作設定 スキャニング

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

スキャンモード レーザーの点灯方法です。ケーブルモードのみ設定変更できます。

モード	グッドリードオフ	モーメンタリ	連続点灯	トグル	タイムアウトオフ
	ボタン離しても 5秒点灯 読むと消灯	ボタン押す間のみ 点灯 読んでも点灯	ボタンを離しても 点灯 読んでも点灯	ボタンで連続点灯と 消灯を切替 読んでも点灯	ボタン離しても 5秒点灯 読んでも点灯 <sup>注</sup>
ケーブル	*  * 8 A C 2 *	 * 8 A C 4 *	 * 8 A C 1 *	 * 8 A C 5 *	 * 8 A C 3 *

**メモ** メモリモードは固有のスキャンモードに自動的に切り替わります(ボタンを押す間のみ点灯。点灯時間が経過するか、読むと消灯)

**注** バージョン 0002-XXXX 以上が対応

レーザーの点灯時間 スキャンモードのオプション設定です。

モード	レーザーの点灯時間
ケーブル グッドリードオフとモーメンタリのレーザー点灯時間。	 * 8 1 7 2 * →5-255(1000ms/5)→セット→設定終了
メモリ ボタンを押している間のレーザー点灯時間。読むと消灯。	 * 7 0 5 2 * →5-255(1000ms/5)→セット→設定終了

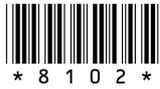
同一コードを読み取るまでの時間 ケーブルモードのみの、スキャンモードのオプション設定です。

モード	同一コードを読み取るまでの時間
ケーブル タイムアウトオフと連続点灯時の設定。	 * 8 1 1 2 * →0-255(100ms/5)→セット→設定終了

#### 2度読み防止

モード	禁止	許可
ケーブル	*  * 8 B 6 0 *	 * 8 B 6 1 * ----- レーザー点灯時、他のコードを読むか、消灯するまで 同一コードを読まない
メモリ	*  * 7 A 2 0 *	 * 7 A 2 1 * ----- 同一コードは読まない

読み取り一致 許可に設定すると読み取りデータの正確さを向上します

モード	禁止	許可	オプション
ケーブル/メモリ共通	*  * 8 B 7 0 *	 * 8 B 7 1 *	読み取り一致回数  * 8 1 0 2 * ----- →1-10(回/2)→セット→設定終了

### 10-5 動作設定 ブザー、バイブレータ

	設定開始	
---	------	---

\* 印は出荷時設定

起動時のブザー USB ケーブル接続したときのメロディーブザーの設定です。

モード	禁止(オフ)	許可
ケーブル	 * 0 A 4 0 *	*  * 0 A 4 1 *

読み取りブザー バーコード読み取り時のブザーの設定です。禁止に設定しても転送時などの通知音は鳴ります。

モード	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション	
ケーブル	 * 8 B 0 0 *	*  * 8 B 0 1 *	音調  * 8 1 6 2 *	→0-50 (100Hz/27) →セット→設定 終了
			鳴る長さ  * 8 1 5 2 *	→0-255 (10ms/10) →セット→設定 終了
メモリ	 * 7 A 6 0 *	*  * 7 A 6 1 *	(なし)	

ブザーの音量 バーコード読み取り時のブザー音量を設定します。転送時などの通知音量は変更されません。

モード	ブザーの音量
ケーブル/メモリ共通	 * 8 1 4 2 * →1-10(Level/10)→セット→設定終了

#### バイブレータ

モード	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション
ケーブル	*  * 8 B 2 0 *	 * 8 B 2 1 *	バイブの長さ  * 8 1 A 2 * →0-255 (10ms/10) →セット→設定 終了
メモリ	*  * 7 A 7 0 *	 * 7 A 7 1 *	

10-6 動作設定 読み取りデータの形式

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

読み取りデータの形式

プリアンブル	プレフィックス	バーコードタイプ	コードID	桁数	読取データ	(コードID)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	1-8 桁	可変	1-2 桁	2 桁		1-2 桁	1-8 桁	1-8 桁

プリアンブル/プレフィックス/サフィックス/ポストアンブルの転送

モード	設定	禁止	許可	オプション	
ケーブル/ メモリ共通	プリアンブルの 転送	 * 8 C 6 0 *	 * 8 C 6 1 *	プリアンブル データ  * 8 3 0 D *	→アスキー8桁→ セット→設定終 了
	プレフィックス の転送	(なし)	(なし)	プレフィックス データ  * 8 2 0 D *	→アスキー8桁→ セット→設定終 了
	サフィックスの 転送	(なし)	(なし)	サフィックス データ  * 8 2 8 D *	→アスキー8桁→ セット→設定終 了
	ポストアンブル の転送	 * 8 C 7 0 *	 * 8 C 7 1 *	ポストアンブル データ  * 8 3 8 D *	→アスキー8桁 (CR,LF)→セット →設定終了

**注** 初期の製品 0001-0020 以下はプリアンブルとポストアンブルそれぞれ 4 桁です

コードタイプ/コード ID/桁数の転送

モード	設定	禁止	許可
ケーブル/ メモリ共通	コードタイプの 転送	 * 8 C 0 0 *	 * 8 C 0 1 *
	コードIDの転送	 * 8 C 3 0 *	 * 8 C 3 1 *
	コードIDの位置 データの前か後	* 前  * 8 C 2 0 *	後  * 8 C 2 1 *
	桁数の転送	 * 8 C 5 0 *	 * 8 C 5 1 *

アルファベット大文字小文字の変換

モード	変換しない	大小を逆に変換	全て小文字に変換	全て大文字に変換
ケーブル/メモリ共通	*  * 8 E 8 0 *	 * 8 E 8 1 *	 * 8 E 8 2 *	 * 8 E 8 3 *

## 10-7 動作設定 最小読取桁数/最大読取桁数



\* 印は出荷時設定

最小読取桁数 UPC/EAN/JAN,2 of 5 以外のコードタイプに設定します。

モード	最小読取桁数
ケーブル/メモリ共通	 * 8 1 E 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了

最大読取桁数 UPC/EAN/JAN,2 of 5 以外のコードタイプに設定します。

モード	最小読取桁数
ケーブル/メモリ共通	 * 8 1 F 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了

**メモ** UPC/EAN/JAN、2 of 5 以外のコードタイプ（Code39、Codabar/NW7、Code128 など）の読み取りできる桁数を共通して設定します。

- ・ **最小読取桁数**と**最大読取桁数**を **0**に設定すると、どの桁でも読み取ります。
- ・ **最小読取桁数**は設定した桁以上を読み取ります。
- ・ **最大読取桁数**は設定した桁以下を読み取ります。
- ・ **最小読取桁数**と**最大読取桁数**を同じ桁数に設定すると、その桁のみ読み取ります。

**例** 最小読取桁数を 6 桁に設定する

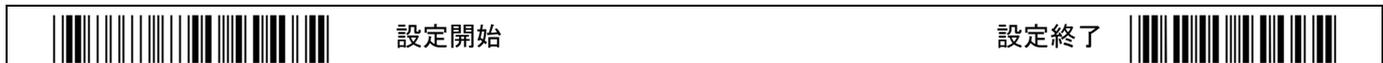
設定開始 → 最小読取桁数 → 6 → セット → 設定終了

設定後は 6 桁以上のバーコードを読み取ります。1~5 桁のバーコードは読み取らなくなります。

**メモ** Interleaved 2 of 5 など 2of 5 の読取桁数は、それぞれの読取設定のページにある最小読取桁数と最大読取桁数のメニューで設定して下さい。

**メモ** コードタイプごとに読取桁数を設定するには、コードタイプごとの最小読取桁数と最大読取桁数を設定して下さい。

10-8 読取設定 UPC-A



\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー			
読み取り	<p><b>禁止</b></p> <p>* A A 7 0 *</p>	<p><b>* 許可</b></p> <p>* A A 7 1 *</p>		
チェックデジット転送	<p><b>禁止</b></p> <p>* A A 6 0 *</p>	<p><b>* 許可</b></p> <p>* A A 6 1 *</p>		
アドオンの読み取り	<p><b>* 禁止</b></p> <p>* A B 9 0 *</p>	<p><b>2桁</b></p> <p>* A B 9 1 *</p>	<p><b>5桁</b></p> <p>* A B 9 2 *</p>	<p><b>2桁と5桁</b></p> <p>* A B 9 3 *</p>
アドオンの確認	<p><b>* 禁止</b></p> <p>* A A 0 0 *</p>		<p><b>許可</b></p> <p>* A A 0 1 *</p>	
アドオンの確認回数	<p>* 8 1 3 2 *</p> <p>→0-255(回/10)→セット→設定終了</p>			
先頭から連続する0の削除	<p><b>* 禁止</b></p> <p>* A A 5 0 *</p>		<p><b>許可</b></p> <p>* A A 5 1 *</p>	
データの削除 下記の <b>メモ</b> 参照。1桁目が0のJAN13を13桁で転送する場合、 <b>前方から削除</b> を設定します。	<p><b>前方から削除</b></p> <p>* A 0 8 2 *</p> <p>→0-255(桁/1)→セット→設定終了</p>		<p><b>後方から削除</b></p> <p>* A 0 9 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>	
挿入データの位置	<p><b>挿入データ0の位置</b></p> <p>* A 0 C 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>		<p><b>挿入データ1の位置</b></p> <p>* A 0 D 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>	
挿入データ	<p><b>挿入データ0</b></p> <p>* A 0 E B *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>		<p><b>挿入データ1</b></p> <p>* A 1 0 B *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	
コードID	<p><b>コードIDの文字</b></p> <p>* A 1 2 B *</p> <p>→アスキー2文字(A)→セット→設定終了</p>			

**メモ** <バージョン0002-XXXX以上> 1桁目が0のJAN13は12桁で転送されます。先頭の0を付けて13桁で転送する場合、次の設定をして下さい。 **設定開始** → **UPC-A 前方から削除** → **0** → **セット** → **設定終了** (詳細は第9章 9-10を参照)



12桁の転送に戻す場合、設定開始  
→前方から削除→1→セット→設定終了

10-9 読取設定 UPC-E



\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー			
読み取り	<b>禁止</b>  * B A 7 0 *		<b>* 許可</b>  * B A 7 1 *	
チェックデジット転送	<b>禁止</b>  * B A 6 0 *		<b>* 許可</b>  * B A 6 1 *	
アドオンの読み取り	<b>* 禁止</b>  * B B 9 0 *	<b>2桁</b>  * B B 9 1 *	<b>5桁</b>  * B B 9 2 *	<b>2桁と5桁</b>  * B B 9 3 *
アドオンの確認	<b>* 禁止</b>  * B A 0 0 *		<b>許可</b>  * B A 0 1 *	
アドオンの確認回数	 * 8 1 3 2 * →0-255(回/10)→セット→設定終了			
13桁に変換	<b>* 禁止</b>  * B A 1 0 *		<b>許可</b>  * B A 1 1 *	
先頭から連続する0の削除	<b>* 禁止</b>  * B A 5 0 *		<b>許可</b>  * B A 5 1 *	
データの削除	<b>前方から削除</b>  * B 0 8 2 * →0-255(桁/1)→セット→設定終了		<b>後方から削除</b>  * B 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	<b>挿入データ 0 の位置</b>  * B 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>挿入データ 1 の位置</b>  * B 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	<b>挿入データ 0</b>  * B 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了		<b>挿入データ 1</b>  * B 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コードID	<b>コードIDの文字</b>  * B 1 2 B * →アスキー2文字(E)→セット→設定終了		<b>サブコードIDの文字</b>  * B 1 4 B * →アスキー2文字(E)→セット→設定終了	
	----- 13桁に変換を許可にしたときのID			

## 10-10 読取設定 EAN-13/JAN-13



\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー			
読み取り	<b>禁止</b>  * C A 7 0 *		<b>* 許可</b>  * C A 7 1 *	
チェックデジット転送	<b>禁止</b>  * C A 6 0 *		<b>* 許可</b>  * C A 6 1 *	
アドオンの読み取り	<b>* 禁止</b>  * C B 9 0 *	<b>2桁</b>  * C B 9 1 *	<b>5桁</b>  * C B 9 2 *	<b>2桁と5桁</b>  * C B 9 3 *
アドオンの確認	<b>* 禁止</b>  * C A 0 0 *		<b>許可</b>  * C A 0 1 *	
アドオンの確認回数	 * 8 1 3 2 * →0-255(回/10)→セット→設定終了			
ISBN/ISSN に変換	<b>* 禁止</b>  * C A 1 0 *		<b>許可</b>  * C A 1 1 *	
先頭から連続する0の削除	<b>* 禁止</b>  * C A 5 0 *		<b>許可</b>  * C A 5 1 *	
データの削除	<b>前方から削除</b>  * C 0 8 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>後方から削除</b>  * C 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	<b>挿入データ0の位置</b>  * C 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>挿入データ1の位置</b>  * C 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	<b>挿入データ0</b>  * C 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了		<b>挿入データ1</b>  * C 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コードID	<b>コードIDの文字</b>  * C 1 2 B * →アスキー2文字(F)→セット→設定終了		<b>サブコードIDの文字</b>  * C 1 4 B * →アスキー2文字(F)→セット→設定終了 ----- ISBN/ISSN 変換を許可にしたときの ID	

**メモ** <バージョン 0002-XXXX 以上> JAN13の1桁目が0のとき、12桁で転送されます。先頭の0を付けて13桁で転送する場合、第10章 10-8 読取設定 UPC-Aの設定メニューで設定して下さい。

10-11 読取設定 EAN-8/JAN-8

	設定開始	
---	------	---

\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー			
読み取り	<b>禁止</b>  * D A 7 0 *		<b>* 許可</b>  * D A 7 1 *	
チェックデジット転送	<b>禁止</b>  * D A 6 0 *		<b>* 許可</b>  * D A 6 1 *	
アドオンの読み取り	<b>* 禁止</b>  * D B 9 0 *	<b>2桁</b>  * D B 9 1 *	<b>5桁</b>  * D B 9 2 *	<b>2桁と5桁</b>  * D B 9 3 *
アドオンの確認	<b>* 禁止</b>  * D A 0 0 *		<b>許可</b>  * D A 0 1 *	
アドオンの確認回数	 * 8 1 3 2 * →0-255(回/10)→セット→設定終了			
13桁に変換	<b>* 禁止</b>  * D A 1 0 *		<b>許可</b>  * D A 1 1 *	
先頭から連続する0の削除	<b>* 禁止</b>  * D A 5 0 *		<b>許可</b>  * D A 5 1 *	
データの削除	<b>前方から削除</b>  * D 0 8 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>後方から削除</b>  * D 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	<b>挿入データ0の位置</b>  * D 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>挿入データ1の位置</b>  * D 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	<b>挿入データ0</b>  * D 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了		<b>挿入データ1</b>  * D 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コードID	<b>コードIDの文字</b>  * D 1 2 B * →アスキー2文字(FF)→セット→設定終了		<b>サブコードIDの文字</b>  * D 1 4 B * →アスキー2文字(FF)→セット→設定終了 ----- 13桁変換を許可にしたときのID	

## 10-12 読取設定 Code 39



\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<b>禁止</b>  * E A 7 0 *	<b>* 許可</b>  * E A 7 1 *
スタート/ストップ転送	<b>* 禁止</b>  * E A 2 0 *	<b>許可</b>  * E A 2 1 *
チェックデジット確認	<b>* 禁止</b>  * E B B 0 *	<b>許可</b>  * E B B 1 *
チェックデジット転送	<b>* 禁止</b>  * E A 6 0 *	<b>許可</b>  * E A 6 1 *
Code 39 の形式	<b>* 標準</b>  * E B 9 0 *	<b>Full ASCII Code 39</b>  * E B 9 1 *
最小/最大読取桁数	<b>最小読取桁数</b>  * E 0 A 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>最大読取桁数</b>  * E 0 B 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	<b>* 禁止</b>  * E A 5 0 *	<b>許可</b>  * E A 5 1 *
データの削除	<b>前方から削除</b>  * E 0 8 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>後方から削除</b>  * E 0 9 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	<b>挿入データ 0 の位置</b>  * E 0 C 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>挿入データ 1 の位置</b>  * E 0 D 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	<b>挿入データ 0</b>  * E 0 D B *  →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	<b>挿入データ 1</b>  * E 1 0 B *  →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	<b>コード ID の文字</b>  * E 1 2 B *  →アスキー2文字(M)→セット→設定終了	<b>サブコード ID の文字</b>  * E 1 4 B *  →アスキー2文字(M)→セット→設定終了  ----- Full ASCII Code39 の ID

## 10-13 読取設定 Interleaved 2 of 5 / ITF



\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<b>* 禁止</b>  * H A 7 0 *	<b>許可</b>  * H A 7 1 *
チェックデジット確認	<b>* 禁止</b>  * H B B 0 *	<b>許可</b>  * H B B 1 *
チェックデジット転送	<b>* 禁止</b>  * H A 6 0 *	<b>許可</b>  * H A 6 1 *
最小/最大読取桁数	<b>最小読取桁数</b>  * H 0 A 2 * →0-255(桁/4)→セット→設定終了	<b>最大読取桁数</b>  * H 0 B 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する0の削除	<b>* 禁止</b>  * H A 5 0 *	<b>許可</b>  * H A 5 1 *
データの削除	<b>前方から削除</b>  * H 0 8 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>後方から削除</b>  * H 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	<b>挿入データ0の位置</b>  * H 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>挿入データ1の位置</b>  * H 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	<b>挿入データ0</b>  * D F 8 E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	<b>挿入データ1</b>  * D F A E 3 * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	<b>コードIDの文字</b>  * H 1 2 B * →アスキー2文字(l)→セット→設定終了	

## 10-14 読取設定 Industrial 2 of 5



\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<b>* 禁止</b>  * I A 7 0 *	<b>許可</b>  * I A 7 1 *
チェックデジット確認	<b>* 禁止</b>  * I B B 0 *	<b>許可</b>  * I B B 1 *
チェックデジット転送	<b>* 禁止</b>  * I A 6 0 *	<b>許可</b>  * I A 6 1 *
最小/最大読取桁数	<b>最小読取桁数</b>  * I 0 A 2 * →0-255(桁/4)→セット→設定終了	<b>最大読取桁数</b>  * I 0 B 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する0の削除	<b>* 禁止</b>  * I A 5 0 *	<b>許可</b>  * I A 5 1 *
データの削除	<b>前方から削除</b>  * I 0 8 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>後方から削除</b>  * I 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	<b>挿入データ0の位置</b>  * I 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>挿入データ1の位置</b>  * I 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	<b>挿入データ0</b>  * I 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	<b>挿入データ1</b>  * I 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	<b>コードIDの文字</b>  * I 1 2 B * →アスキー2文字(J)→セット→設定終了	

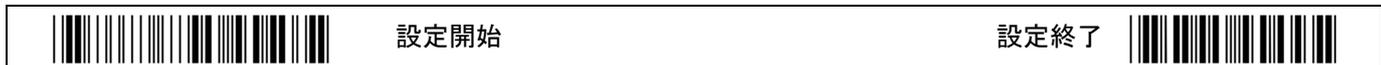
## 10-15 読取設定 Matrix 2 of 5

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * J A 7 0 *	許可  * J A 7 1 *
チェックデジット確認	* 禁止  * J B B 0 *	許可  * J B B 1 *
チェックデジット転送	* 禁止  * J A 6 0 *	許可  * J A 6 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * J 0 A 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数  * J 0 B 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * J A 5 0 *	許可  * J A 5 1 *
データの削除	前方から削除  * J 0 8 2 * →0-255(桁/4)→セット→設定終了	後方から削除  * J 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ0の位置  * J 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ1の位置  * J 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ0  * J 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ1  * J 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * J 1 2 B * →アスキー2文字(G)→セット→設定終了	

## 10-16 読取設定 Codabar / NW7



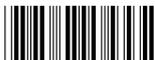
\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー			
読み取り	<b>禁止</b>  * G A 5 0 *		<b>* 許可</b>  * G A 5 1 *	
スタート/ストップ転送	<b>* 禁止</b>  * G A 2 0 *		<b>許可</b>  * G A 2 1 *	
スタート/ストップ転送形式	<b>* ABCD/ABCD</b>  * G B 9 0 *	<b>abcd/abcd</b>  * G B 9 1 *	<b>ABCD/TN*E</b>  * G B 9 2 *	<b>abcd/tn*e</b>  * G B 9 3 *
スタート/ストップ同一確認 許可はスタートとストップが同一の ときのみ読み取る	<b>* 禁止</b>  * G A 0 0 *		<b>許可</b>  * G A 0 1 *	
チェックデジット確認 MOD16のチェックデジットを確認し ます	<b>* 禁止</b>  * G B B 0 *		<b>許可</b>  * G B B 1 *	
チェックデジット転送	<b>* 禁止</b>  * G A 6 0 *		<b>許可</b>  * G A 6 1 *	
最小/最大読取桁数	<b>最小読取桁数</b>  * G 0 A 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>最大読取桁数</b>  * G 0 B 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する0の削除	<b>* 禁止</b>  * G A 5 0 *		<b>許可</b>  * G A 5 1 *	
データの削除	<b>前方から削除</b>  * G 0 8 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>後方から削除</b>  * G 0 9 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	<b>挿入データ 0 の位置</b>  * G 0 C 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>挿入データ 1 の位置</b>  * G 0 D 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	<b>挿入データ 0</b>  * G 0 E B *  →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了		<b>挿入データ 1</b>  * G 1 0 B *  →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コードID	<b>コードIDの文字</b>  * G 1 2 B *  →アスキー2文字(N)→セット→設定終了			

## 10-17 読取設定 Code 128

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	<b>禁止</b>  * F A 7 0 *	<b>* 許可</b>  * F A 7 1 *	
転送形式 <b>メモ</b> UCC-128 と GS1-128 の設定はファームウェアバージョン 0001-0020 以上が対応します。	<b>* 標準</b>  * F B 9 0 *	<b>UCC-128</b>  * F B 9 1 *	<b>GS1-128</b>  * F B 9 2 *
区切文字		<b>区切文字 (UCC-128 用)</b>  * F 1 6 B * →アスキー2文字( )→セット→設定終了	GS1-128 を読むと AI に ( ) を付けて転送します。
最小/最大読取桁数	<b>最小読取桁数</b>  * F 0 A 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>最大読取桁数</b>  * F 0 B 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する 0 の削除	<b>* 禁止</b>  * F A 5 0 *	<b>許可</b>  * F A 5 1 *	
データの削除	<b>前方から削除</b>  * F 0 8 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>後方から削除</b>  * F 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	<b>挿入データ 0 の位置</b>  * F 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>挿入データ 1 の位置</b>  * F 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	<b>挿入データ 0</b>  * F 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	<b>挿入データ 1</b>  * F 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID	<b>コード ID の文字</b>  * F 1 2 B * →アスキー2文字(K)→セット→設定終了	<b>サブコード ID の文字</b>  * F 1 4 B * →アスキー2文字(K)→セット→設定終了 ----- UCC-128、GS1-128 の ID	

**メモ** カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 10 章 10-2)を日本キーボードに設定して下さい。

**メモ** 区切り文字は 2 文字を設定します。1 文字のみ設定する場合、2 文字目はアスキー設定値「00」(Null)を設定して下さい。

## 10-18 読取設定 Code 93

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * K A 7 0 *	許可  * K A 7 1 *	
チェックデジット確認	禁止  * K B B 0 *	1桁  * K B B 1 *	* 2桁  * K B B 2 *
チェックデジット転送	* 禁止  * K A 6 0 *	許可  * K A 6 1 *	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * K 0 A 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数  * K 0 B 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * K A 5 0 *	許可  * K A 5 1 *	
データの削除	前方から削除  * K 0 8 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除  * K 9 2 0 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ0の位置  * K 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ1の位置  * K 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ0  * K 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ1  * K 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コードID	コードIDの文字  * K 1 2 B * →アスキー2文字(L)→セット→設定終了		

## 10-19 読取設定 Code 11

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * L A 7 0 *	許可  * L A 7 1 *	
チェックデジット確認	禁止  * L B B 0 *	1桁  * L B B 1 *	* 2桁  * L B B 2 *
チェックデジット転送	* 禁止  * L A 6 0 *	許可  * L A 6 1 *	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * L 0 A 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数  * L 0 B 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * L A 5 0 *	許可  * L A 5 1 *	
データの削除	前方から削除  * L 0 8 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除  * L 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ0の位置  * L 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ1の位置  * L 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ0  * L 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ1  * L 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コードID	コードIDの文字  * L 1 2 B * →アスキー2文字(O)→セット→設定終了		

10-20 読取設定 MSI

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー			
読み取り	<b>* 禁止</b>  * M A 7 0 *		<b>許可</b>  * M A 7 1 *	
チェックデジット確認	<b>禁止</b>  * M B B 0 *	<b>* Mod10</b>  * M B B 1 *	<b>Mod10/10</b>  * M B B 2 *	<b>Mod11/10</b>  * M B B 3 *
チェックデジット転送	<b>* 禁止</b>  * M A 6 0 *		<b>許可</b>  * M A 6 1 *	
最小/最大読取桁数	<b>最小読取桁数</b>  * M 0 A 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>最大読取桁数</b>  * M 0 B 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する0の削除	<b>* 禁止</b>  * M A 5 0 *		<b>許可</b>  * M A 5 1 *	
データの削除	<b>前方から削除</b>  * M 0 8 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>後方から削除</b>  * M 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	<b>挿入データ 0 の位置</b>  * M 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		<b>挿入データ 1 の位置</b>  * M 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	<b>挿入データ 0</b>  * M 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了		<b>挿入データ 1</b>  * M 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コードID	<b>コードIDの文字</b>  * M 1 2 B * →アスキー2文字(P)→セット→設定終了			

## 10-21 読取設定 Plessey

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<b>* 禁止</b>  * N A 7 0 *	<b>許可</b>  * N A 7 1 *
チェックデジット確認	<b>* 禁止</b>  * N B B 0 *	<b>許可</b>  * N B B 1 *
チェックデジット転送	<b>* 禁止</b>  * N A 6 0 *	<b>許可</b>  * N A 6 1 *
最小/最大読取桁数	<b>最小読取桁数</b>  * N 0 A 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>最大読取桁数</b>  * N 0 B 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する0の削除	<b>* 禁止</b>  * N A 5 0 *	<b>許可</b>  * N A 5 1 *
データの削除	<b>前方から削除</b>  * N 0 8 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>後方から削除</b>  * N 0 9 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	<b>挿入データ0の位置</b>  * N 0 C 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>挿入データ1の位置</b>  * N 0 D 2 *  →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	<b>挿入データ0</b>  * N 0 E B *  →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	<b>挿入データ1</b>  * N 1 0 B *  →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	<b>コードIDの文字</b>  * N 1 2 B *  →アスキー2文字(R)→セット→設定終了	

## 10-22 読取設定 Telepen

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * 0 A 7 0 *	許可  * 0 A 7 1 *	
転送形式	* Numeric  * 0 B 9 0 *	ASCII  * 0 B 9 1 *	自動  * 0 B 9 2 *
チェックデジット確認	* 禁止  * 0 B B 0 *	許可  * 0 B B 1 *	
チェックデジット転送	* 禁止  * 0 A 6 0 *	許可  * 0 A 6 1 *	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * 0 0 A 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数  * 0 0 B 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * 0 A 5 1 *	許可  * 0 A 5 1 *	
データの削除	前方から削除  * 0 0 8 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除  * 0 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ0の位置  * 0 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ1の位置  * 0 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ0  * 0 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ1  * 0 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コードID	コードIDの文字  * 0 1 2 B * →アスキー2文字(S)→セット→設定終了		

10-23 読取設定 GS1 Databar Omnidirectional/GS1 データバー標準型



\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p style="text-align: center;"><b>* 禁止</b></p> <p style="text-align: center;">* P A 7 0 *</p>	<p style="text-align: center;"><b>許可</b></p> <p style="text-align: center;">* P A 7 1 *</p>
アプリケーション識別子の転送方法 <b>メモ</b> ファームウェアのバージョン (Ver)によって動作が異なります。「AI」はアプリケーション識別子の略記です。	<p style="text-align: center;"><b>* 禁止</b></p> <p style="text-align: center;">* P A 3 0 *</p> <p>Ver 0001-0021 以上:AIに( )を付けない Ver 0001-0020 以下:先頭の01を転送しない</p>	<p style="text-align: center;"><b>許可</b></p> <p style="text-align: center;">* P A 3 1 *</p> <p>Ver 0001-0021 以上:AIに( )を付ける Ver 0001-0020 以下:先頭の01を転送する</p>
先頭にJe0を転送	<p style="text-align: center;"><b>* 禁止</b></p> <p style="text-align: center;">* P A 2 0 *</p>	<p style="text-align: center;"><b>許可</b></p> <p style="text-align: center;">* P A 2 1 *</p>
最終桁の転送	<p style="text-align: center;"><b>* 禁止</b></p> <p style="text-align: center;">* P A 6 0 *</p>	<p style="text-align: center;"><b>許可</b></p> <p style="text-align: center;">* P A 6 1 *</p>
データの削除	<p style="text-align: center;">前方から削除</p> <p style="text-align: center;">* P 0 8 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p style="text-align: center;">後方から削除</p> <p style="text-align: center;">* P 0 9 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>
挿入データの位置	<p style="text-align: center;">挿入データ0の位置</p> <p style="text-align: center;">* P 0 C 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p style="text-align: center;">挿入データ1の位置</p> <p style="text-align: center;">* P 0 D 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>
挿入データ	<p style="text-align: center;">挿入データ0</p> <p style="text-align: center;">* P 0 E B *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p style="text-align: center;">挿入データ1</p> <p style="text-align: center;">* P 1 0 B *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
コードID	<p style="text-align: center;">コードIDの文字</p> <p style="text-align: center;">* P 1 2 B *</p> <p>→アスキー2文字(T)→セット→設定終了</p>	

**メモ** カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第10章 10-2)を日本キーボードに設定して下さい。

**メモ** <バージョン 0001-0021 以上> 先頭のアプリケーション識別子01を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

(設定後、元に戻す場合 設定開始 → 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了)



**設定例** バーコードの表示「(01)0491234509876」を「0491234509876」と読み取るには、次の設定をして下さい。

設定開始 → 読み取り 許可 → 最終桁の転送 許可 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

10-24 読取設定 GS1 Databar Limited/GS1 データバー限定型



\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p><b>* 禁止</b></p> <p>* Q A 7 0 *</p>	<p><b>許可</b></p> <p>* Q A 7 1 *</p>
アプリケーション識別子の転送方法 <b>メモ</b> ファームウェアのバージョン (Ver)によって動作が異なります。「AI」はアプリケーション識別子の略記です。	<p><b>* 禁止</b></p> <p>* Q A 3 0 *</p> <p>Ver 0001-0021 以上:AIに( )を付けない Ver 0001-0020 以下:先頭の01を転送しない</p>	<p><b>許可</b></p> <p>* Q A 3 1 *</p> <p>Ver 0001-0021 以上:AIに( )を付ける Ver 0001-0020 以下:先頭の01を転送する</p>
先頭にJe0を転送	<p><b>* 禁止</b></p> <p>* Q A 2 0 *</p>	<p><b>許可</b></p> <p>* Q A 2 1 *</p>
最終桁の転送	<p><b>* 禁止</b></p> <p>* Q A 6 0 *</p>	<p><b>許可</b></p> <p>* Q A 6 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p> <p>* Q 0 8 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>後方から削除</p> <p>* Q 0 9 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ0の位置</p> <p>* Q 0 C 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ1の位置</p> <p>* Q 0 D 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ0</p> <p>* Q 0 E B *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ1</p> <p>* Q 1 0 B *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
コードID	<p>コードIDの文字</p> <p>* Q 1 2 B *</p> <p>→アスキー2文字(U)→セット→設定終了</p>	

**メモ** カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第10章10-2)を日本キーボードに設定して下さい。

**メモ** <バージョン 0001-0021 以上> 先頭のアプリケーション識別子01を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

(設定後、元に戻す場合 設定開始 → 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了)



**設定例** バーコードの表示「(01)0491234509876」を「0491234509876」と読み取るには、次の設定をして下さい。

設定開始 → 読み取り 許可 → 最終桁の転送 許可 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

## 10-25 読取設定 GS1 Databar Stacked/GS1 データバー標準二層型



\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p style="text-align: center;">* 禁止</p> <p style="text-align: center;">* R A 7 0 *</p>	<p style="text-align: center;">許可</p> <p style="text-align: center;">* R A 7 1 *</p>
アプリケーション識別子の転送方法 <b>メモ</b> ファームウェアのバージョン (Ver)によって動作が異なります。「AI」はアプリケーション識別子の略記です。	<p style="text-align: center;">* 禁止</p> <p style="text-align: center;">* R A 3 0 *</p> <p>Ver 0001-0021 以上:AIに( )を付けない Ver 0001-0020 以下:先頭の01を転送しない</p>	<p style="text-align: center;">許可</p> <p style="text-align: center;">* R A 3 1 *</p> <p>Ver 0001-0021 以上:AIに( )を付ける Ver 0001-0020 以下:先頭の01を転送する</p>
先頭にJe0を転送	<p style="text-align: center;">* 禁止</p> <p style="text-align: center;">* R A 2 0 *</p>	<p style="text-align: center;">許可</p> <p style="text-align: center;">* R A 2 1 *</p>
最終桁の転送	<p style="text-align: center;">* 禁止</p> <p style="text-align: center;">* R A 6 0 *</p>	<p style="text-align: center;">許可</p> <p style="text-align: center;">* R A 6 1 *</p>
データの削除	<p style="text-align: center;">前方から削除</p> <p style="text-align: center;">* R 0 8 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p style="text-align: center;">後方から削除</p> <p style="text-align: center;">* R 0 9 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>
挿入データの位置	<p style="text-align: center;">挿入データ0の位置</p> <p style="text-align: center;">* R 0 C 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p style="text-align: center;">挿入データ1の位置</p> <p style="text-align: center;">* R 0 D 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>
挿入データ	<p style="text-align: center;">挿入データ0</p> <p style="text-align: center;">* R 0 E B *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p style="text-align: center;">挿入データ1</p> <p style="text-align: center;">* R 1 0 B *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
コードID	<p style="text-align: center;">コードIDの文字</p> <p style="text-align: center;">* R 1 2 B *</p> <p>→アスキー2文字(V)→セット→設定終了</p>	

**メモ** カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第10章10-2)を日本キーボードに設定して下さい。

**メモ** <バージョン0001-0021以上> 先頭のアプリケーション識別子01を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

(設定後、元に戻す場合 設定開始 → 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了)



**設定例** バーコードの表示「(01)0491234509876」を「0491234509876」と読み取るには、次の設定をして下さい。

設定開始 → 読み取り 許可 → 最終桁の転送 許可 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

## 10-26 読取設定 GS1 Databar Expanded/GS1 データバー拡張型

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<b>* 禁止</b>  * S A 7 0 *	<b>許可</b>  * S A 7 1 *
アプリケーション識別子の転送方法 <b>メモ</b> ファームウェアのバージョン (Ver)によって動作が異なります。「AI」はアプリケーション識別子の略記です。	<b>* 禁止</b>  * S A 3 0 * Ver 0001-0021 以上:AIに( )を付けない Ver 0001-0020 以下:先頭の01を転送しない	<b>許可</b>  * S A 3 1 * Ver 0001-0021 以上:AIに( )を付ける Ver 0001-0020 以下:先頭の01を転送する
先頭にJe0を転送	<b>* 禁止</b>  * S A 2 0 *	<b>許可</b>  * S A 2 1 *
最終桁の転送	<b>* 禁止</b>  * S A 6 0 *	<b>許可</b>  * S A 6 1 *
データの削除	<b>前方から削除</b>  * S 0 8 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>後方から削除</b>  * S 0 9 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	<b>挿入データ0の位置</b>  * S 0 C 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	<b>挿入データ1の位置</b>  * S 0 D 2 * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	<b>挿入データ0</b>  * S 0 E B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	<b>挿入データ1</b>  * S 1 0 B * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	<b>コードIDの文字</b>  * S 1 2 B * →アスキー2文字(W)→セット→設定終了	

**メモ** カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第10章 10-2)を日本キーボードに設定して下さい。

## 10-27 読取設定 GS1 Databar Expanded Stacked/GS1 データバー拡張多層型



\* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p>* 禁止</p>  <p>* T A 7 0 *</p>	<p>許可</p>  <p>* T A 7 1 *</p>
アプリケーション識別子の転送方法 <b>メモ</b> ファームウェアのバージョン (Ver)によって動作が異なります。「AI」はアプリケーション識別子の略記です。	<p>* 禁止</p>  <p>* T A 3 0 *</p> <p>Ver 0001-0021 以上:AIに( )を付けない Ver 0001-0020 以下:先頭の 01 を転送しない</p>	<p>許可</p>  <p>* T A 3 1 *</p> <p>Ver 0001-0021 以上:AIに( )を付ける Ver 0001-0020 以下:先頭の 01 を転送する</p>
先頭にJe0 を転送	<p>* 禁止</p>  <p>* T A 2 0 *</p>	<p>許可</p>  <p>* T A 2 1 *</p>
最終桁の転送	<p>* 禁止</p>  <p>* T A 6 0 *</p>	<p>許可</p>  <p>* T A 6 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p>  <p>* T 0 8 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>後方から削除</p>  <p>* T 0 9 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 0 の位置</p>  <p>* T 0 C 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 1 の位置</p>  <p>* T 0 D 2 *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→設定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 0</p>  <p>* T 0 E B *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 1</p>  <p>* T 1 0 B *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
コード ID	<p>コード ID の文字</p>  <p>* T 1 2 B *</p> <p>→アスキー2文字(X)→セット→設定終了</p>	

**メモ** カッコが正しく出ない場合、キーボード配列(第 10 章 10-2)を日本キーボードに設定して下さい。

## 第 11 章 保証と修理

### 11-1 保証

#### ■保証について

本製品には保証書が添付されておりません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

#### ■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

#### ■保証期間

お買い上げ日から 1 年間

#### ■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

#### ■保証範囲

- ・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたしません。
- ・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
- ・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

### 11-2 修理

#### ●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。

修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

#### ●修理依頼・製品の送付先について

修理をご依頼になる場合は、まず弊社にご相談ください。

#### ●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

#### お問い合わせ先

株式会社エイポック

ホームページ <http://www.a-poc.co.jp/>

メール [info\\_mail@a-poc.co.jp](mailto:info_mail@a-poc.co.jp)

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F

電話 045-508-5201 FAX 045-508-5202

## 付録 A サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



JAN-13(EAN-13)



JAN-8(EAN-8)



Code 39



\*CODE39-1Q\*

Interleaved 2 of 5 / ITF ※



14512345678903

※出荷時、読み取りは**禁止**※出荷時、最小読取桁数は**4**桁

Codabar / NW7



A1234567890A

Code 128



Code128-567890

GS1 Databar Limited GS1 データバー限定型 ※



(01)04598765432113

※出荷時、読み取りは**禁止**

※出荷時、アプリケーション識別子は01と転送 (Ver 0001-0021以上)

※出荷時、最終桁の転送は**禁止**

印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

付録 B 英数メニュー

アスキーコード表

L \ H	0(*)	1(*)	0(**)	1(**)
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	ESC	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

\*USB HID キーボードインターフェースが対応

\*\*アスキー制御文字。本製品(USB HID)は\*印として転送する

L \ H	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	¥	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
A	
B	
C	
D	
E	
F	



セット





設定終了

